

蒲郡市情報モラル教育の手引き

- ・ 情報モラル教育カリキュラムチェックリスト
- ・ 授業案集



令和 5 年 4 月
蒲郡市教育委員会
蒲郡市情報教育部会

— 目 次 —

・情報モラル教育について	1
・情報モラル教育カリキュラムチェックリスト	3
きまりをまもらないと①	【小1—道徳教科書】 5
つまらなかった（インターネット上のやり取り）②	【小4—道徳教科書】 6
知らない間の出来事③	【小5 6—道徳添付資料】 7
情報モラル④	【中学生—技術教科書】 1 1
角がついたかいじゅう⑤	【小2—道徳教科書】 1 3
他人のものをまねしたら⑥	【小3 4—学活添付資料】 1 4
気に入らなかった写真（インターネット上の責任）⑦	【小6—道徳教科書】 1 8
知的財産の保護と活用⑧	【中学生—技術教科書】 1 9
みんなのニュースがかり⑨	【小1 2—道徳添付資料】 2 1
少しだけなら⑩	【小3 4—道徳添付資料】 2 5
あいさつって（インターネット上のマナー）⑪	【小5—道徳教科書】 2 9
雨のバスでいりゆう所で⑫	【小4—道徳教科書】 3 1
公園のきまりを作ろう⑫	【小5—道徳教科書】 3 3
ここを走れば⑫	【小6—道徳教科書】 3 5
よりよい買い物の仕方を考えよう⑬	【小5—家庭科教科書】 3 7
これって法律違反なの？⑭	【中学生—学活添付資料】 3 9
消費者の権利と責任⑮	【中学生—家庭科教科書】 4 3
勝ち負けが決まらないゲーム⑯	【中学生—学活添付資料】 4 5
言葉の向こうに⑰	【中学生—道徳添付資料】 4 9
スマホ時代のキミたちへ⑱	【小1 2—学活添付資料】 5 3
インターネットにつなぐとき⑲	【小3 4—学活添付資料】 5 7
こんなホームページが出てきたら⑳	【小3 4—学活添付資料】 6 1
ネットの向こうにいる人は？㉑	【小5 6—学活添付資料】 6 3
幸せがやってくるメール？㉒	【小5 6—学活添付資料】 6 7
情報セキュリティ㉓	【中学生—技術教科書】 6 9
嘘？本当？㉔	【小3 4—学活添付資料】 7 1
ほしかったあの商品が無料でもらえる㉕	【小3 4—学活添付資料】 7 5
インターネットに書いてあったのに㉖	【小5 6—学活添付資料】 7 7
楽しいダンスの後ろに㉗	【小5 6—学活添付資料】 7 9
たくさんの人の助けが必要？㉘	【中学生—学活添付資料】 8 3
インターネットにむちゅう㉙	【小3—道徳教科書】 8 7
ねむれない夜㉚	【小5 6—学活添付資料】 8 9
おせっかいが大変なことに㉛	【小5 6—学活添付資料】 9 1
情報端末との付き合い方㉜	【中学生—学活添付資料】 9 3
いったい何時までやるの？㉝	【中1 2—学活添付資料】 9 7
スマホに夢中！㉞	【中3—道徳教科書】 9 9
友だちだもん、貸していいかな㉟	【小5 6—学活添付資料】 1 0 1
なくしたスマホから㊱	【小5 6—学活添付資料】 1 0 3
・情報モラルリンク集	1 0 5

文部科学省のGIGAスクール構想により、蒲江市でも児童・生徒一人一人にタブレットが配付され、今まで以上に情報モラル教育の需要が高まってきたため、本手引きを作成いたしました。

情報モラルといっても、根本にあるのは基本的なモラル教育が大切です。モラル教育を進めていくなかで情報モラルにもふれ、道徳や教科の授業や学活、朝や帰りの短活等において、各学校でご活用いただければ幸いです。

この手引きは、すべてデータとして「ファイルキャビネット」の教育委員会¥10 情報教育部会¥情報教育関連資料¥情報モラル教育資料の中にあります。

授業案は、全てワード文書です。資料の一部もワード文書があります。先生方が利用しやすいように編集していただいて結構です。また、不鮮明な資料は各学校で印刷して利用してください。

情報モラル教育について

1 情報モラル教育についての基本的な考え方

情報モラル：情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度

1人1台端末を導入したことで、学校において、アカウントやパスワードの管理方法や学校での「使い方のルール」などを丁寧に教える必要がある。また、端末を家庭に持ち帰って学習する場合には、家庭での利用についての指導も必要である。

GIGAスクール構想においては、整備や活用の推進とともに、こうした情報モラルに関する内容についても適切に行なっていく必要がある。さらに、インターネット上での誹謗中傷やいじめ、犯罪や違法・有害情報などの問題が発生している現状では、情報社会に積極的に参画する態度を育てることは今後ますます重要である。そのため、情報モラルの指導はすべての教員が行い、すべての児童生徒に情報モラルを身に付ける指導が必要である。

2 情報モラル教育の内容と指導上の留意点

「情報社会の倫理」

情報に関する自他の権利を尊重して責任ある行動を取る態度

「法の理解と遵守」

情報社会におけるルールやマナー、法律があることを理解し、それらを守ろうとする態度

「安全への知恵」

情報社会の危険から身を守り、危険を予測し、被害を予防する知識や態度

「情報セキュリティ」

生活の中で必要となる情報セキュリティの基本的な考え方、情報セキュリティを確保するための対策・対応についての知識

「公共的なネットワーク社会の構築」

情報社会の一員として公共的な意識をもち、適切な判断や行動を取る態度

上記の内容をもれなく扱い、各教科等の目標と情報モラル教育の目標との関係を明確にする。また、学校の教育活動全体を通して適切に情報モラルを身に付けるための学習活動を位置付ける。

3 情報モラル教育の進め方

(1) 子どもたちの実態把握や整理

児童生徒を取り巻く情報にかかわる環境は日々変化している。また、多く

の児童生徒が、コンピュータや携帯電話・携帯型ゲーム機などを使っている。さらに、家庭ではインターネットを自由に利用している。まずは、目の前の児童生徒の実態をしっかり把握することが大切である。

(2) 年間指導計画の作成

各教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の年間指導計画に情報モラル教育を位置付け学校教育全体で情報モラル教育を推進する。

(3) 指導方法の検討

年間指導計画に位置づけられた学習内容を授業や学校教育のさまざまな場面で指導する方法を検討する。

(4) 実際の指導と評価

指導後の授業者の振り返りや児童生徒の感想文などから、実施した指導内容を評価し、今後に生かす。

●情報モラル教育カリキュラムチェックリスト

領域	分野	校種	学年	コード	指導事項	チェック欄(※指導したら○を付ける)									教科等				
						小学校						中学校							
						1	2	3	4	5	6	1	2	3					
心を磨く領域	情報社会の倫理	小	低	a1-1	約束や決まりを守る												道徳		
			中	a2-1	相手への影響を考えて行動する													道徳	
		高	a3-1	他人や社会への影響を考えて行動する															道徳
			中全	a4-1	情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する														技術
		小	低	b1-1	人の作ったものを大切にすることを														道徳
			中	b2-1	自分の情報や他人の情報を大切に														学活
		高	b3-1	情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する															道徳
			中全	b4-1	個人の権利(人格権、肖像権など)を尊重する														技術
	中全	b4-2	著作権などの知的財産権を尊重する															技術	
		小	低	c1-1	生活の中でのルールやマナーを知る														道徳
	中		c2-1	情報の発信や情報をやりとりする場合のルールやマナーを知り、守る														道徳	
	高		c3-1	何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない														道徳	
	高		c3-2	「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する														道徳	
	中全	c3-3	契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない															家庭	
		c4-1	違法な行為とは何かを知り、違法だとわかった行動は絶対に行わない															学活	
		c4-2	情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る															技術	
	中全	c4-3	契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する															家庭	
		高	i3-1	ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う															学活
中全	i4-1		ネットワークの公共性を意識して行動する															道徳	
	安全への配慮	小	低	d1-1	大人と一緒に使い、危険に近づかない													学活	
低			d1-2	不適切な情報に出合わない環境で利用する													学活		
中			d2-1	危険に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する														学活	
中			d2-2	不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する														学活	
高			d3-1	予測される危険の内容がわかり、避ける														学活	
高			d3-2	不適切な情報であるものを認識し、対応できる														学活	
中全		d4-1	安全性の面から、情報社会の特性を理解する															技術	
		d4-2	トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る															技術	
小		低	e1-2	知らない人に連絡先を教えない														学活	
		中	e2-1	情報には誤ったものもあることに気付く														学活	
		中	e2-2	個人の情報は、他人にもらさない														学活	
		高	e3-1	情報の正確さを判断する方法を知る														学活	
高	e3-2	自他の個人情報を、第三者にもらさない															学活		
	中全	e4-1	情報の信頼性を吟味できる														学活		
中全	e4-2	自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる															技術		
	小	低	f1-1	決められた利用の時間や約束を守る														学活	
中		f2-1	健康のために利用時間を決め守る														道徳		
高		f3-1	健康を害するような行動を自制する														学活		
高		f3-2	人の安全を脅かす行為を行わない														学活		
中全	f4-1	健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる															保体		
	f4-2	自他の安全面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる															学+道		
情報セキュリティ	小	中	g2-1	認証の重要性を理解し、正しく利用できる													学活		
		高	g3-1	不正使用や不正アクセスされないように利用できる													学活		
	中全	g4-1	情報セキュリティの基礎的な知識を身につける														技術		
	小	高	h3-1	情報の破壊や流出を守る方法を知る														学活	
中全		h4-1	基礎的なセキュリティ対策が立てられる														技術		

□ ……指定の道徳の教科書を用いて実施

■ ……その範囲の期間内に実施

※各列は、左のページとつながっています。

資料	主な指導内容・学習活動・単元（題材）名 等
①	主題名「きまりをまもらないと」（1年道徳教科書P132）
②	主題名「分かり合うために」（4年道徳教科書P92+P96）
③	主題名「互いに信頼し学び合って」（資料「知らない間の出来事」文部科学省「私たちの道徳」）B-(10)【友情，信頼】の授業内で指導
④	単元名「情報モラル」（技術教科書P252）
⑤	主題名「してよいこと，いけないこと」（2年道徳教科書P22+P26）
⑥	主題名「自分のものと他人のもの」（別添資料）
⑦	主題名「インターネット上の権利と責任」（6年道徳教科書P92+P97）
④	単元名「情報モラル」（技術教科書P252）
⑧	単元名「知的財産の保護と活用」（技術教科書P234）
⑨	主題名「みんなのために働く」（資料「みんなのニュースがかり」文部科学省「小学校道徳読み物資料集」）C-(12)【勤労，公共の精神】の授業内で指導
⑩	主題名「よく考えて節度ある生活を」（資料「少しだけなら」文部科学省「私たちの道徳」）A-(3)【節度，節制】の授業内で指導
⑪	主題名「礼儀とマナー」（5年道徳教科書P18+P22）
⑫	4年道徳教科書P120C-(11)，5年道徳教科書P33，6年道徳教科書P127C-(11)【規則の尊重】の授業内で指導
⑬	主題名「よりよい買い物の仕方を考えよう」（家庭科教科書P61）
⑭	主題名「法の遵守」（別添資料）
④	単元名「情報モラル」（技術教科書P252）
⑮	単元名「消費者被害と消費者の自立」（家庭科教科書P246）
⑯	主題名「ネット利用のマナー」（別添資料）
⑰	主題名「認め合い学び合う心」（資料「言葉の向こうに」文部科学省「私たちの道徳」）B-(9)【相互理解，寛容】の授業内で指導
⑱	主題名「安全な使い方」（別添資料）文科省リーフレット「スマホ時代の君たちへ」（低学年用）
⑱	主題名「安全な使い方」（別添資料）文科省リーフレット「スマホ時代の君たちへ」（低学年用）
⑲	主題名「インターネットにつなぐとき」（別添資料）文科省リーフレット（パソコンを使い始める小中学生向け）
⑳	主題名「有害サイトの対応」（別添資料）
㉑	主題名「なりすましの危険」（別添資料）
㉒	主題名「チェーンメールへの対応」（別添資料）
㉓	単元名「情報セキュリティ」（技術教科書P228）
㉓	単元名「情報セキュリティ」（技術教科書P228）
⑱	主題名「安全な使い方」（別添資料）文科省リーフレット「スマホ時代の君たちへ」（低学年用）
㉔	主題名「情報の信憑性」（別添資料）情報モラル指導事例集P68
㉕	主題名「個人情報の流出」（別添資料）
㉖	主題名「情報の信憑性」（別添資料）
㉗	主題名「個人情報の流出」（別添資料）
㉘	主題名「善意のチェーンメール」（別添資料）
④	単元名「情報モラル」（技術教科書P252）
⑱	主題名「安全な使い方」（別添資料）文科省リーフレット「スマホ時代の君たちへ」（低学年用）
㉙	主題名「インターネットにむちゅう」（3年道徳教科書P22）
㉚	主題名「ネット依存と健康被害」（別添資料）
㉛	主題名「プライバシーの侵害」（別添資料）
㉜	主題名「情報端末との付き合い方」別添資料
㉝	1，2年-主題名「ネット依存」（別添資料）3年-主題名「自分の生活を見直して」（3年道徳教科書P82）
⑲	主題名「インターネットにつなぐとき」（別添資料）文科省リーフレット（パソコンを使い始める小中学生向け）
㉞	主題名「IDとパスワードの利用」（別添資料）
㉞	単元名「情報セキュリティ」（技術教科書P228）
㉟	主題名「個人情報の流出」（別添資料）
㉞	単元名「情報セキュリティ」（技術教科書P228）

…可能であれば自作の資料で実施

①きまりをまもらないと

<道徳教科書P132>

○ 目標

みんなが使う場所やものは、使う人の気持ちを考えて行動しようとする心情を育てる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 道徳 32「みんながつかうばしょだから」で話し合ったことを思い出す。 (未実施の場合は、身のまわりのきまりを思い出す。)	○その時の授業を思い出させるために、数名の授業の振り返りを抽出して読む。 (きまりを分類して板書する。)
展開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんなばしょに、どんなきまりがありますか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道を渡るときは手を上げます。 ・図書館では、大きな声を出してはいけません。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">そのきまりをまもらないと、どんなことが起こると思いますか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道で手を上げないと、交通事故にあうかもしれないよ。 ・図書館で大きな声を出すと、他の人が本を読むのに邪魔になるよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なぜきまりがあると思いますか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・いやな思いをする人が出るから。 ・みんながいやな思いをしないように。 	○意見が出ないときは、身の回りのことから考えられるように、登下校や遊び場など、場所を提示する。 ○補助発問として、きまりを守っていない人を見たことがある人から意見を聞き、その時にどう思ったかを問う。 ○これまでの発問を振り返りながら考えさせる。
終末	3 授業を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・使う人みんなが、いやな思いをしないようにきまりがあるんだね。 ・みんなできまりを守ろう。 4 教師の話聞く。	○きまりを守ることで、みんなが気持ちよく使える内容を書いた児童の振り返りを全体に知らせる。 (教師は、情報の世界でも同じであることを意識しておく。) ○教師の体験などを紹介する。

○ 評価

規則があるから守るだけでなく、なぜ規則があるのかを考え、使う人みんなが気持ちよく使うために規則を守ろうとする気持ちが高まったか。

②つまらなかった (インターネット上のやり取り)

<道徳教科書 P92・P96>

○ 目標

人とのやり取りでは、自分の伝えたいことが伝わるように気をつけることが大切であることに気づく。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	<p>1 友達との人間関係を振り返る。</p> <p>相手の気持ちが分からなくてこまったこと</p> <p>・鬼ごっこをやるはずだったのに、公園に行ったら砂遊びに変わったこと。</p>	<p>○友達とギクシャクしたときのことを想起させる。</p>
展開	<p>2 教材を読んで話し合う。</p> <p>信二とさとしにとって「つまらなかった。」という言葉は、それぞれどういうことを表していたのだろう。</p> <p>《信二》</p> <p>・最新式の遊具が期待外れであったこと。</p> <p>《さとし》</p> <p>・りょうが来なくて自分と遊んだことを、信二が「つまらない」と言ったと思っている。</p> <p>信二とさとしには、どんなことが足りなかったのでしょうか</p> <p>・信二は、さとしの気持ちを考えて話したり、行動したりする配慮が足りなかった。</p>	<p>○信二とさとしの関係図を使って、二人の「つまらなかった。」と捉えた違いを確認する。</p> <p>○信二は失望していたが、それはさとしと二人だったからではないことは押さえておく。</p> <p>○この日、信二とさとしは、会ってからすれ違いが重なっていたことに着目させたい。</p> <p>○ワークシートを工夫して、二人がそれぞれ足りないところを考えやすく示しやすいようにする。</p>
終末	<p>3 P96「インターネット上のやり取り」を読んで、インターネット上でのコミュニケーションについて考える。</p> <p>4 授業を振り返る。</p> <p>・相手が困らないように、しっかりと考えてから送信しよう。</p>	<p>○受け手の立場で考えさせる。</p> <p>○正しく伝わる工夫をしていきたいという内容を書いた児童の振り返りを全体に知らせる。</p>

○ 評価

人とのやり取りの中で思いや考えを伝えるときは、正しく伝わる工夫をするなどして伝えようとする気持ちが高まったか。

③知らない間の出来事

B-(10)【友情, 信頼】

○ 目標

相手の気持ちを考えて行動し、友情を深めていこうとする心情を育てる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	<p>1 友だちについて考える。</p> <p>友だちがいて良かったと思う時はどんな時ですか</p> <p>・いっしょに遊んでくれる時。助けてくれる時。</p>	<p>○子どもたちが運動場で遊んだり、教室で話したりしているときの写真を提示する。</p>
展開	<p>2 教材を読んで話し合う。</p> <p>あゆみが携帯電話をもっていないことを知ったみかは、どんなことを思ったのでしょうか</p> <p>・せっかく仲良くなれると思ったのに、これでは連絡が取りにくい。</p> <p>・連絡取るような友だちがいなかったのかな。</p> <p>電話番号の紙をきれいにもどし、あゆみに電話しようとしているみかは、どのようなことを伝えようとしているのでしょうか</p> <p>・まさかこんなことになるなんて。本当は仲良かったかったの。ごめんね。</p> <p>・私が勝手に思い込んでメールを流したの。ごめんなさい。これから仲良くしていきたいの。</p> <p>何がいけなかったと思いますか</p> <p>・みかが勝手な思い込みをメールに書いた。</p> <p>・みんながうわさ話としてメールを流した。</p> <p>・メールで人のことを書いてはいけない。</p>	<p>○みかの残念に思う気持ちや驚いた気持ちに共感できるようにする。</p> <p>○誤解を招いてしまった反省の気持ちやこれから仲良くしていきたいという気持ちをとらえ、信頼し合うためには互いに理解し合うことが大切であることを考えられるようにする。</p> <p>○みかのメールと友だちから聞いたメールの内容を提示し、メールの怖さ(拡散や内容が変わっていくこと等)についても考えられるようする。</p>
終末	<p>3 授業を振り返る。</p> <p>・直接、友だちに会って、友だちの思いも聞きながら、自分の思いを伝えたほうがいいな。</p> <p>4 今まで友達に対する誤解が解けて、さらに友情が深まった教師の話聞く。</p>	<p>○よりよい友だち関係を築くためには、これから大切にしたいことは何かについて考える。</p> <p>○教師の体験などを紹介する。</p>

○ 評価

自分の思いや考えを、場に応じた態度で適切に伝えることが大切であることに気づき、相手の気持ちを理解し、より良い友だち関係を築こうとする気持ちが高まったか。

【資料は次ページにあります】



みかの回想

(九月一日)

二期が始まった日、転入生をむかえた。転入したあゆみさんは自己しようかいでこんなことを言っていた。

「私は、漫画が好きで、読むのもかくのも両方好きです。特に、最近漫画をかくことに夢中です。早くみんな友だちになりたいです。よろしくお願いします。」

私はびっくりした。それは私の趣味と全く同じだったからだ。私も漫画が大好きで、最近、かくほうに夢中だった。

(よし、あゆみさんと友達になって、漫画をかくて遊ぼう。)

まずは、メールアドレスを聞いて、それから遊ぶ時間と場所を決めようと思い、あゆみさんに声をかけた。

私は、再びびっくりした。あゆみさんは、携帯電話を持っていなかった。せっかく、漫画の話ができると思ったのに……。家の電話番号が書かれたメモ用紙は、小さく丸めて、ポケットにつっこんだ。

もしかして、あゆみさんが携帯電話を持っていないということは、友だちと連絡できないということ……。ということは、友達があまりいない子だったのではないか、などと思ひ、

《今度の転校生、携帯持っていないんだって。友達あまりいないみたい。これは推測だけ。》

と、メールに書いてクラスの友達に送った。

(九月二日)

朝、教室に入るとクラスみんながあゆみさんのことをうわさしている声が耳に入った。

授業も終わり、帰りの会で、いきなりあゆみさんが手を挙げて言い出した。それは、前の学校の根も葉もないことをメールで流されたということだった。なんて、そんなことがメールで流れたのだから。

放課後、クラスの友達に聞いてみた。

「さっきのあゆみさんの話んだけど、どんなことが書いてあったの。」

「私のメールには、《今度の転校生は、携帯を持ってないから、仲間外れにされて、この学校に入ってきたらしい。》と、書いてあったよ。」

私はそれを聞いて、はっとした。まちがいない。それは、私が書いたメールがいつの間にかこんなことになっていたので。私の思いこみがこんなことになってしまふとは……。

頭の中は、あゆみさんのことであらういっぱいになった。

私が、電話番号の書いてあった紙をきれいにもどし、あゆみさんの家に電話をしたのは夕方のことだった。

⑩ 知らない間の出来事

あゆみの回想

(九月一日)

いよいよ、新しい学校での生活が始まった。父の転勤とはいえ転校は不安だったが、自己しようかいの後、みんなから拍手をもらい、これから楽しくやっていけそうな気がした。

ちようど、校門から道路に出ようとするとき、同じクラスのみかさんに声をかけられた。

「ねえ、あゆみさん。私たちなんだか仲良しになれそうな気がするの。その訳は後でメールするから、携帯電話のメールアドレス教えて。」

「こちらこそ、よろしく。でも、ごめんね。私、携帯電話……、持っていないの。その代わりうちの家の電話番号、教えるから。」

と言って、メモ用紙に家の電話番号を書いてわたした。

みかさんは、メモ用紙を受け取ると、がっかりした様子で、

「えっ、携帯持っていないの。ううん、じゃあ、またね。」

と言って、帰ってしまった。

私が前にいた学校では、携帯電話は本当に必要なかったし、親からもまだ早いだろうと言われていたので、持っていなかったのだ。

(九月二日)

新しい学校での二日目。教室に入ると、みんなの視線が何だか自分に向けられていることに気づいた。思い切ったとなりの席の男子に聞いてみた。

「ねえ、なんでみんな私の方を見ているんだろう。」

「それはね、たぶん、あゆみさんのことが書かれたメールのことだと思うよ。」

「えっ。なんて書いてあったの。」

「今度転校してきたあゆみさんは、前の学校で仲間外れになっていたので、この学校に転校してきたんだって。ねえ、それ本当なの。」私の心は、おどろきでいっぱいになった。

(どうして私がそうなってしまったの。このままだと、本当に仲間外れになってしまう。)

私はどきどきする胸の鼓動を聞きながら、帰りの会で発言した。

「私は、前の学校で仲間外れにされたりしていません。みんなと仲良しでした。根も葉もないことをメールで勝手に流されたりして、とても悲しいです。みんながメールのことを本気にしてしまうといいやなので、勇気を出して言いました。」

帰りのあいさつの後、先生が声をかけてくれたが、わき目もふらず家に帰った。

「あゆみに電話よ。」

という母の声が聞こえてきたのは夕方四時ごろだった。

④情報モラル

<技術教科書P252>

○ 題材の計画 【情報セキュリティと情報モラル】

- ①情報セキュリティ
- ②情報モラル (本時)
- ③知的財産の保護と活用

○ 本時のねらい

- ・情報モラルの必要性と、情報を収集・発信するときに注意することを知る。
- ・情報社会で人権などの権利を尊重する必要性を考える。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 教科書 P252 の 3 つの事例について、話し合う。 <効果> ・画像などでより詳しく伝えられる。 ・早く、継続的に情報を伝えられる。 <注意点> ・個人が特定されないように気をつける。 ・伝えたいことが確実に伝わる工夫をする。	○利用するメリットも押さえたうえで、注意点の話し合いにする。 (可能であれば、最近おこった実際のニュース等を入れてみるのもよい。)
展 開	2 情報モラルの必要性を考え、話し合う。 ・これまで、たくさんの人がいやな思いをしているニュースを見たよ。だから、絶対に必要ことだと思う。 3 次の 3 点について考える。 <権利> ・人には、個人の情報に対する権利がある。 <責任と義務> ・自分や他の人の情報は、正しく管理する責任がある。 <ルールや法律> ・故意に嘘の情報を発信してはいけない。 ・個人情報保護法っていうのがある。	○個人やグループで考えさせ、多様な意見が出るようにする。 ○3 つまたは 6 つのグループを作り、グループごとにテーマについて考え、発表させる。 ○発表内容の不足分は、教師が補う。
終 末	4 これからの生活での情報発信において、気をつけることを確認する。	○これまでの経験や授業での事例を踏まえ、自分が気をつけるべきことを考え、発表させる。

○ 評価

情報社会の中で権利と責任について理解し、適切に行動していこうとする意識を高めることができたか。

情報モラル

()年()組()番()

◇3つの事例について考えよう

	写真をSNSに掲載	SNSを見る, 書き込む	知らない人とSNSで話す
やることの メリット			
注意する点			

◇情報モラルがなぜ必要だと思いますか

--

◇次の3点について考えよう

権利	責任と義務	ルールや法律

◇これからの生活で気をつけること

--

⑤角がついたかいじゅう (友達が作ったものは)
 <道徳教科書P22>

○ 目標

してよいことといけないことを判断する大切さについて考え、しっかりと区別する判断力を高める。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入 5分	1 悪い気持ちは無かったけど、相手を困らせてしまった自分の経験を振り返る。 ・ロッカーの整頓をしてあげたら、困っていた。 ・教室のごみを片付けたら、落とし物だった。 ・友達の家で、勝手にゲームを借りて遊んでしまった。	○自分の経験を思い起こさせることで、自分事として考えさせたい。
展開 25分	2 教材を読んで話し合う。 たくみくんはどんな気持ちでのりおくんの作品に角をつけてしまったのでしょうか ・角がついたら、かいじゅうがもっとかっこよくなると思った。 ・のりおくんがよろこんでくれる。 ・もっとかっこよくしたい。 のりお君が角のついた自分の作品を見たとき、どんな気持ちになったでしょう ・ひどい、なぜ角があるの…嫌だ。 のりおくんの姿を見て、たくみくんはどんなことに気がついたでしょう ・勝手に人の作品をいじってはいけなかった。 ・自分がいいことだと思っても、のりおくんにとってはいやなことだった。	○悪気なくのりおくんの作品に角をつけた、たくみくんの気持ちを考えさせる。 ○教材を読み進めながら、その場面ごとに登場人物の気持ちを考えさせる。 ○のりお君とたくみ君の思いを対比させることで、気持ちのすれ違いがおきることについて気づかせる。 ○「してよいこと、いけないこと」を考える大切さを捉えさせる。
終末 15分	3 P26「友達が作ったものは」を読んで考える。 ①と②の場合のじろう君の気持ちを考える。 ・勝手にまねされて嫌な気持ちになる。 ・先に言ってくれたのでうれしい。 4 授業を振り返る。	○友達の作品をまねるところは同じだが、事前に了解を得ることで、相手の受取方が違うことを気づかせる。

○ 評価

他者を尊重する気持ちを大切にすることに気づき、してよいことといけないことを区別しようとする意識が高まったか。

⑥ 友だちの作品をまねしたら (情報の権利)

○ 目標

自分の情報も他人の情報も、情報を扱うときに大切なことを理解し、正しい行動をとる際の判断力を育てる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 日本のキャラクターをまねた海外のキャラクターの写真を見て感想を聞く。	○まねたキャラクターを営業に使用していることなどを説明する。
展開	<p>2 教材を読んで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">勝手に他人のものをまねすると、どんな問題が起こるかを考える</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Aさんは、どんな気持ちで作品をまねしたと思いますか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・用事があったのだからしかたがないと思った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">廊下でもめているとき、Aさんは、どのような行動をとればいいと思いますか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・Bさんとクラスみんなにあやまって、もう一度デザインを考えるまで待ってもらうようお願いする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">改めて旗を作るとき、みんなならどのようなことを注意して作りますか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・真似はいけないから、一から作り直す。 ・いいところを真似するのはいけないのかな。 ・真似をするなら聞いた方がいいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分だけでなく、家族のことを考えた行動であることを押さえる。 ○些細な行動が、思いもよらないことになったとき、どう責任をとったらよいかを考えさせる。 ○自他の権利を尊重して責任ある行動を取ることの大切さを理解させる。 ○真似をすることについて、相手の気持ちをふまえて、真似の程度や相手に対する対応を考えさせる。
終末	<p>3 授業を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人のまねをする時には、その人に言うべからにしよう。 <p>4 教師の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活において、こうした自他の権利を尊重した行動がとれているかを振り返らせる。 ○著作権について簡単に紹介する。

○ 評価

自分が作ったものも他人が作ったものも、同じように扱い、大切にしようとする意識が高まったか。

<導入用資料>



「他人のものをまねしたら」

Aさんが通っている小学校では、5月に運動会があります。その運動会では、クラスできそうおうえん用のはた作りがあります。

4月の中ごろ、Aさんのクラスではた作りの担当をきめることになり、絵のじょうずなAさんがえらばれました。Aさんもやる気まんまんで、引きうけました。Aさんには、となりのクラスですが、仲のいいBさんという友だちがいました。Bさんも絵がじょうずで、Bさんのクラスのはた作りの担当になっていました。

二人はいっしょにデザインを考えようということになり、Bさんの家にあつまってデザインを考えました。Bさんは、アイデアが浮かび、どんどんデザインの絵をかいていきます。しかし、Aさんはまったくアイデアが浮かびません。

「Aさん、まだアイデアが浮かばないの？がんばってね。」

「Bさんは、すぐにアイデアがでるなんてすごいね。しかも、とてもいいデザインだね。」

「Aさんだって、がんばれば、もうすぐアイデアが浮かぶよ。」

こんな会話をしながら、時間がすぎていき、とうとう何もかけないままその日は終わってしまいました。

ある日Aさんは、クラスの学級委員に、

「Aさん、はたのデザインは決まった？もう、はたにかかないと運動会に間に合わないよ。」

Aさんは、

「ごめんね。まだなの。もう少しまってくれる？」

しかし、学級委員は、

「間に合わないんだから、今日中にデザインを決めてください。決まるまで帰らないでね。」

といわれてしまいました。Aさんは、（え～、今日ははやく帰って、お母さんと新しい服を買いに行く予定なのに・・・）と思いましたが、学級委員のいうことも分かります。そこで、（そうだ！Bさんのデザインをまねして少しかえれば大丈夫かな。もう時間がないからしょうがない。）と思い、Bさんのデザインをまねしたものを自分なりに少しかえたものを学級委員に出して帰りました。

次の日、Aさんが学校に行くと、Aさんのクラスの学級委員とBさんのクラスの学級委員が教室の前でもめていました。

「あなたたちのクラスが、私たちのクラスのデザインをまねしたの？」

「君たちのクラスがまねしたんじゃないのか？」

「だれがその絵をかいたんだ？」

そこに、Bさんが登校してきて、

「2枚とも、私がかいた絵みたい。どうして？」

Aさんは、なんて言ったらいいいのか、わからなくなってしまいました。



⑦気に入らなかった写真 (インターネット上の責任)

<道徳教科書P92・P97>

○ 目 標

インターネットを利用するときの責任について理解し、責任ある行動をとる際の判断力を育てる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 情報端末を使った通信の経験について確認する。	○経験のない児童には、写真等サイトの説明を丁寧にする。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 インターネットを利用するときには、どんな責任がともなうのだろう お姉さんは、どんな考えで写真を投稿したと思いますか ・みんなに喜んでもらえると思った。 お姉さんは、投稿する前に、どのような行動をとればよかったと思いますか ・友だちや親に相談する。 P97「インターネット上の権利」を読んで、お姉さんが侵害した権利が何かを発表する ・肖像権の侵害。 ・プライバシーの侵害。	○自分だけでなく、みんなのことを考えた行動であることを押さえる。 ○映っている人すべての承認を得ればいいだけでなく、他にも生じる可能性のある問題もあることを自覚させたい。 ○インターネット上で侵害されやすい権利についての知識を付けさせるとともに、自他の権利を尊重して責任ある行動を取ることの大切さを理解させる。
終 末	3 授業を振り返る。 ・自分が写真を投稿するときは、十分考えて、他の人がいたら承諾を得てからにしよう。 4 教師の話聞く。	○日常生活において、こうした自他の権利を尊重した行動がとれているかを振り返らせる。 ○教師の体験などを紹介する。

○ 評 価

インターネットを利用するときの責任と相手やまわりへの影響も考え、自律的で責任ある行動を取ろうとする意識が高まったか。

⑧知的財産の保護と活用

<技術教科書P234>

○ 題材の計画 【情報セキュリティと情報モラル】

①情報セキュリティ

②情報モラル

③知的財産の保護と活用(本時)

○ 本時のねらい

- ・ 知的財産を保護する必要性を理解し、適切な利活用について考える。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 教科書 P234 の 5 つ事例について、合法か違法か話し合う。 ・ 描いた本人の許可を得たなら大丈夫だよ。 ・ ブランドのロゴをコピーするのはいけないよ。	○ 既習の知識で判断させるが、きちんと答え合わせをする。
展 開	2 知的財産権と著作物の利用について、教科書を読んで確認する。 3 教科書 P235 の 3 つの事例について、適切かどうか考える。 ・ テレビを録画したものは、その場で見るなら、誰とみても大丈夫だと思う。 ・ 映画館でスマホに録画するのはだめじゃない。	○ 教科書の図を参考に、つくった側と利用する側の両者の立場で確認する。 ○ 個人やグループで考えさせ、多様な意見が出るようにする。 ○ P236 の著作権の制限を使って確認する。
終 末	4 知的財産の保護や利活用についてまとめる。	○ 誰もが、安心してアイデアを考えていけるために知的財産が保護されていることへの理解を深めたり、適切に利活用してよりよい社会生活を送ろうという意識を高めたりする。

○ 評価

知的財産を保護するために法律などで守られていることを知り、その権利を尊重しながら有効に利用しようとする意識を高めることができたか。

知的財産の保護と活用

()年()組()番()

◇5つの事例について、合法か違法か考えよう

インターネットの無料素材を利用して、学校の玄関に掲示する文化祭の宣伝用ポスターをつくった。	
友だちの描いた絵が素晴らしかったので、許可を得てSNSにアップロードした。	
有名なアーティストの曲をアレンジしたものを演奏、録音して学校の公式サイトで紹介した。	
ブランドのロゴを自分でコピーしたシールをバザーで販売した。	
図書館から借りた絵本の内容がとてもよかったので、妹のために複製した。	

◇知的財産権を確認しよう

--

◇次の3点について考えよう

テレビの番組を録画して、家族、または、友だちと視聴した。	
映画館の入場料を払って視聴している作品をスマートフォンで撮った。	
公式のものでない動画投稿サイトにあるミュージックビデオを自分のスマートフォンにダウンロードした。	

◇今日の授業を振り返って

--

⑨ みんなのニュースがかり

C-(12)【勤労、公共の精神】

○ 目標

働くことのよさを感じて、責任をもってみんなのために働こうとする心情を育てる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	<p>1 みんなのためになる仕事はどんなものがあるか考える。</p> <p>みんなのための仕事は、どんなものがありますか</p> <p>・係の仕事 ・日直 ・掃除 ・給食当番</p>	<p>○係や当番の仕事に着目させ、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</p>
展開	<p>2 教材「みんなのニュースがかり」を聞き、けいすけの気持ちについて考え、話し合う。</p> <p>しょんぼりとニュースを眺めているけいすけは、どんな気持ちかな</p> <p>・ちゃんと書いたつもりだったのに、どうしよう。 ・怒られちゃったなあ。もうやりたくないよ。</p> <p>わざと嘘を書いたわけではないのに、なぜ、みんなは怒ったのかな？ ちょっとくらい、嘘だったとしてもいいんじゃないの</p> <p>・わざとじゃなくても、読んだ人はその嘘を信じてしまうから、困る人が出てくるよ。 ・書かれた人も「嘘つき。」って言われて、読んだ人とけんかになるかもしれない。</p> <p>「みんなのニュース係だね。」と言われたとき、けいすけはどんな気持ちになったかな</p> <p>・みんなが喜んでくれて嬉しいな。 ・これからはちゃんと調べてから書こう。</p>	<p>○紙芝居による資料提示をして視覚化を図り、内容を把握しやすいようにする。</p> <p>○情報モラルの視点について学ぶことができるように、不確かな情報があふれていることに気付き、間違った情報を発信することの不利益についても考えられる補助発問をする。</p> <p>○みんなのために働いてよかったという成就感を味わわせることで、ねらいとする価値に迫れるようにする。</p>
終末	<p>3 今までの体験を振り返り、勤労について考える。</p> <p>みんなのために仕事をしたとき、どんな気持ちになったかな</p> <p>・みんなが喜んでくれて嬉しかった。 ・もっとみんなのための仕事をしたい。</p>	<p>○勤労について、自分のこれまでの生活を振り返ることで、今後よりよく生きていくための思いや課題について考えられるようにする。</p>

○ 評価

周りに喜んでもらえるように責任をもって働くことのよさを感じて、みんなのために働こうとする気持ちを高めることができたか。

【資料は次ページにあります】



「けいすけくん。そのニュースどうするの。」

ゆいさんが、いいました。

「もう、かくのやめちゃうの。」

「うん。かかないほうがよかったなあとおもって。」

「わたしは、うれしかったわ。ちゃんとしらべてかけば、みんなもきつとよろこぶとおもうわ。」

「そうかなあ。」



ゆいさんとはなしながら、けいすけくんはみんながおこったわけをかんがえました。そして、もういちどニュースをかくことにしました。

けいすけくんは、もういちどニュースをかきました。

ある日のことです。

「みんなのことがよくわかるね。」

けいすけくんのニュースを、みんなうれしそうによんでいます。

ひろしくんが、いいました。

「けいすけくんは、みんなのニュースがかりだね。」



文部科学省「小学校道徳読み物資料集」

みんなのニュースがかり



「このニュースはけいすけくんがかいたの。」

けいすけくんがきょうしつに入るとひろしくんがききました。

けいすけくんは、

「みんなのしょうかいをかいたんだ。どうかなあ。」
と、とくいそうにいいました。

けいすけくんは、ニュースがかり。きのうがんばってかいたニュースをかえりにはったのです。

ところが、みんなは、おこっ

ています。

「ぼくが入っているのは、学校のサッカーチームじゃないよ。」

「わたしのピアノのはっぴょう

会も、日曜日じゃないわよ。」

「ええっ。でも、そうきいたと

おもったけど……。」

「けいすけくん。これちゃんとしらべたの。」

ひろしくんにいわれたけいすけくんは、

「いや、あの、その、ごめんなさい。」

といって、あわててニュースをはがしました。

休みじかんです。けいすけくんは、しょんぼりどじ

ぶんがかいたニュースをながめています。

「がんばってかいたのになあ。」



⑩ 少しでもなら

A-(3) 【節度, 節制】

○ 目 標

よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする態度を育てる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 インターネットを使った経験についてのアンケート結果を確認する。 インターネットでどんなことをしたことがありますか ・ゲームを見たり、メールをしたりしているよ。	○インターネットが生活の中で数多く利用されていることに気づかせるために、インターネットの使用状況について事前にアンケートを取り、結果を紹介する。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 怪しいサイトは見ないと約束していたのに、あつしは、どのような思いでサイトを見たのだろう ・見るぐらいなら大丈夫だろう。 ・危ないことなんか何もないよ、きっと。 なぜ、あつしはもう一度タブレットの電源を入れて、名前を入力しようとしたのだろう ・約束はしたけど、やっぱりやりたい。 ・名前を入れるぐらいで、ゲームの新しいステージがもらえるならラッキーだな。 お母さんに尋ねられ、下を向いてぽつりと答えたあつしは、どのようなことを思っていたのだろう ・本当は、えらくないんだ。約束を破ってしまったんだ。 ・少しでもって思ったけど、あんなことしなければよかった。 ・ごめんなさい。次からは、もう絶対にしないよ。 3 自分の生活についてふり返り、今後の行動について考える。 ・ゲームの時間を守らなかったことがあるから、これからはちゃんと守りたい。	○全体像を把握しやすくさせるために、場面絵を掲示する。 ○ゲームがほしい気持ちと母親との約束の間でゆれるあつしの葛藤に共感させるために、「どのような思いでサイトを見たのか」「なぜ、もう一度電源を入れて名前を入力しようとしたのか」などの補助発問をする。 ○あつしが名前を入力してしまった時の気持ちに共感させるために、今までの生活で、同じような経験をした児童に意見を発表させる。 ○後悔の気持ちだけでなく、これから気をつけていこうとする気持ちについても考えさせる。 ○「少しでもなら」という場面を、今の自分の生活に広げるために、自分の心を見つめさせる。 ○本時のねらいに迫った意見を書いている子を数人指名し、発表させる。
終 末	4 インターネット使用時のトラブルについて、教師の体験した話を聞く。	○インターネットの危険性について、具体的な事例を示す。

○ 評 価

叱られるからやらないのではなく、自分で考えて正しい行動をしようとする意欲を高めることができたか。

【資料は次ページにあります】



た。

「あなたの名前とれんらく先を入力してください。」

（ええっ。名前を入れないとだめなのか……。仕方ないな。）

あつしは、タブレットの電げんを切り、中央公園のいんさつ物を整理し始めました。

でも、あつしは、ゲームアプリの新しいステージのことが気になって仕方がありません。

（少しだけなら、いいかな。それに、お母さんも帰ってきていないし。）

あつしは、もう一度タブレットの電げんを入れ、先ほどのサイトに進みました。

（名前と連らく先か……。少しだけなら、大じょうぶだろう。きつと、みんなもしているよ。）

どきどきしながら、名前を入れ始めた時です。
ピピッ、ピピッ、ピピッ。

タイマーの音が、部屋の中にひびきわたりました。

あつしは、はっとして、タブレットの画面から手をはなしました。

カチッ。タイマーの音を止めたあつしは、じっとタブレットの画面を見つめました。

（ふう……。）

大きくため息をついたあつしは、ゆっくりとゲームアプリのサイトをとじ、タブレットの電げんを切りました。そして、中央公園のいんさつ物を整理し始めました。

そこに、お母さんが買い物から帰って来ました。

「ただいま。あらっ、ちゃんと使えたのね。やくそくも守ってえらかったね。」

「うん……」

あつしは、下を向いて、ぼつりと答えました。

文部科学省「私たちの道徳」（一部改）

少しだけなら

「ねえ、お母さん。タブレットを使ってもいいかな。学校の調べ物があるんだ。」

あつしたちは、そう合てきな学習の時間で、遠足のパンフレット作りをしています。あつしは、中央公園のたん当になりました。

「だめよ。きちんと使わないと、大へんなことになるんだから。お母さん、今から買い物に行くから、帰って来たらいっしょに見てあげるわ。」

「大じょうぶだよ、学校で使ったことあるもん。みんなも、家で使っているって言っていたよ。」

「本当に、大じょうぶなの。一人で使ったことはないのに。」

「ちゃんとやくそくを守るから。ぼくをしんじて。ねっ。」

あつしは、タブレットを使うときは、『時間を決め

る』、『あやしいサイトは見ない』、『名前や住所などは入力しない』ということを、お母さんとやくそくしています。

「大じょうぶね。しっかり守るのよ。」

お母さんは、そう言うて買い物に出かけました。

(いつものようにタイマーをセットして…)

あつしは、さっそくタブレットをそうさし、「中央公園」と入力すると、うまくサイトを見つけることができました。

(よし、これをいんさつしたらできあがりだ。)

そのときです。画面の右はしに、気になる物を見つけました。

「なにに、むりようでゲームアプリの新しいステージがもらえるのか。でも、あやしいサイトは見ないって、お母さんとやくそくしたからな…。でも、少しだけなら、大じょうぶだろう…。」

あつしは、おそろおそろ、画面をタッチしてみました

⑪ あいさつって (インターネット上のマナー)

<道徳教科書P18>

○ 目標

あいさつに関する3つの事例を通して、あいさつや礼儀は形式ではなく、心を込めて行うことが大切であることを理解して相手に接する意識を高める。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 日頃のあいさつについて振り返る。	○日頃あいさつができている子を認め賞賛する。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 母に「きちんとあいさつもできないの？」と言われた「僕」は、どんなことを考えていたでしょう ・頭を下げたからいいじゃないか。	○自分の経験を振り返らせ、自分のこととして考えさせる。
	通り過ぎていった男子にむっとした「ぼく」はどんなことを思ったのでしょうか ・どうしてあいさつしてくれないのだろう。	○「ぼく」が両方の立場になったことで、気づいたことを考えさせる。
	土曜日のことを思い出した「ぼく」は、どんなことを考えたのだろうか ・母の知り合いの人も同じことを思ったかも。	
	「ぼく」が分かったような気がした「あいさつや礼儀が大切なわけ」とは、どんなことでしょうか ・あいさつをすると、お互いが気持ちよくなる。	○あいさつのもたらす効果について考えさせ、自分自身のこれまでのあいさつについても触れさせる。
終 末	3 P22「インターネット上のマナー」を読む。 4 授業を振り返る。 ・どんな場面でも、あいさつや礼儀は大切だね。	○直接の対面でない非対面の場合は、より一層配慮が必要であることを伝える。

○ 評価

礼儀やマナーがなぜ必要かを考え、その意義を理解し、相手に真心をもって接しようとする意識を高まったか。



⑫雨のバスでいりゅう所で

<道徳教科書P120>

○ 目標

自ら進んできまりやマナーを守ろうとすることの大切さについて考える。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 これまでの自分の経験（順番を待って並んだ）を振り返る。 ・遊園地で乗り物の順番を並んで待った。	○自分の経験を思い起こさせることで、自分事として考えさせたい。
展開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">お母さんに並んでいたところまで連れて行かれたとき、よし子はどう思ったでしょう。</div> ・いけないことだったのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">お母さんの横顔を見ながら、よし子は、自分のしたことをどう考えていたでしょう。</div> ・自分のことしか考えていなかった。 ・他に並んでいた人は怒っていたかな。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">みんなが気持ちよく過ごすためには、どんなことが大切でしょう。</div> ・まわりの人のことを考える。 ・順番を守る。 ・きまりを守る。	○よし子の考え方は、自分勝手な理屈であることを押さえない。 ○よし子の何がいけなかったのかやまわりの人への迷惑につながることに目を向けさせるようにしたい。 ○自分がつらい状況の時には、自分のことを優先に考えてしまい、まわりの人のことを考えにくくなることを押さえ、だからこそどんなことに注意すればよいかを考えさせたい。
終末	3 今日の授業を振り返る。 4 先生の話聞く。	○情報の世界にもきまりやマナーがあることに触れ、目の前の生活と同じように、きまりやマナーを守ることが大切であることを話す。

○ 評価

きまりやマナーは何のためにあるのかを理解し、進んで守ろうとすることの大切さを考えることができたか。



⑫公園のきまりを作ろう

<道徳教科書P33>

○ 目標

自ら進んできまりやマナーを守ろうとすることの大切さについて考える。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 きまりがあるのに、守られていない理由について考える。 ・ゲームは、夜9時までなのに、欲望を抑えられずに、時間が過ぎてもやってしまう。	○自分の欲求を押さえられなかったり、独りよがりの考えを持ってしまったりすることがあることに気づかせる。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公園の絵を見てどんなことが気になりますか</div> ・ごみをポイ捨てする人がいる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">気になったことを解決するためには、どんなきまりがあるといいですか</div> ・ごみは分別して捨てましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">きまりを考えるとときに大切にしたいことは何ですか</div> ・みんなが気持ちよく使うため。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公園の管理人になったつもりで、看板を作ってみましょう</div> ・「ごみはごみ箱へすてましょう」 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">あなたがきまり作るとき、大事にしなければならないのは、どんなことですか</div> ・みんなが安全に気持ちよく過ごせること。	○どうして、気になったかを問うことで、一人が周囲に及ぼす影響に気づかせる。 ○ <u>多面的な理由が出るように、グループで考えさせる。</u> ○みんなが気持ちよく過ごすために、きまりがあることを理解させる。 ○呼びかけの形にすると、具体的な行動が想起されることに気づかせたい。 ○ワークシートに個人の考えを書かせた後で、 <u>グループ</u> で意見交流して共有させる。
終 末	3 今日の授業を振り返る。 4 先生の話聞く。	○情報の世界にもきまりやマナーがあることに気づかせるために、身近な情報機器の扱い方やトラブル防止のためのポスターを提示し、きまりの大切さについて説話する。

○ 評価

きまりやマナーは何のためにあるのかを理解し、進んで守ろうとすることの大切さを考えることができたか。

第6回 公園のきまりをつくらう

ペットボトル用ゴミ箱

花をふんでいる



リードを口に入れて散歩

ゴミを捨てる

きまりが守られていないのはなぜ?

- 守らうと意識していない
- 自分ごとしか考えない
- 楽しい気持ちで勝つ(ま)
- 知らない
- 意味がわからない

自転車であそんでいる

がっかっている

キャッチボール

注意する

一緒にごみ拾いを手伝う

花だんの花をふまない

自転車の花を公園の外に置いておく

ゴミは分別して捨てる

きまりはどのように作られるのだろう

①きまりを作る時に大切にしたこと

でいらことが限られます

みんなが気持ちよく

みんなの気持ちを守る

きまりを見た人が大切にしたいこと

みんなが楽しくさせる

けがなく安全に

みんなが楽しく安全に

気持ちよくさせる

看板をつくらう

12月 21日 水曜日 日直

【 ↑ 授業後の板書 】
【 教師の説話前に 提示した資料 → 】



⑫ここを走れば

<道徳教科書P127>

○ 目標

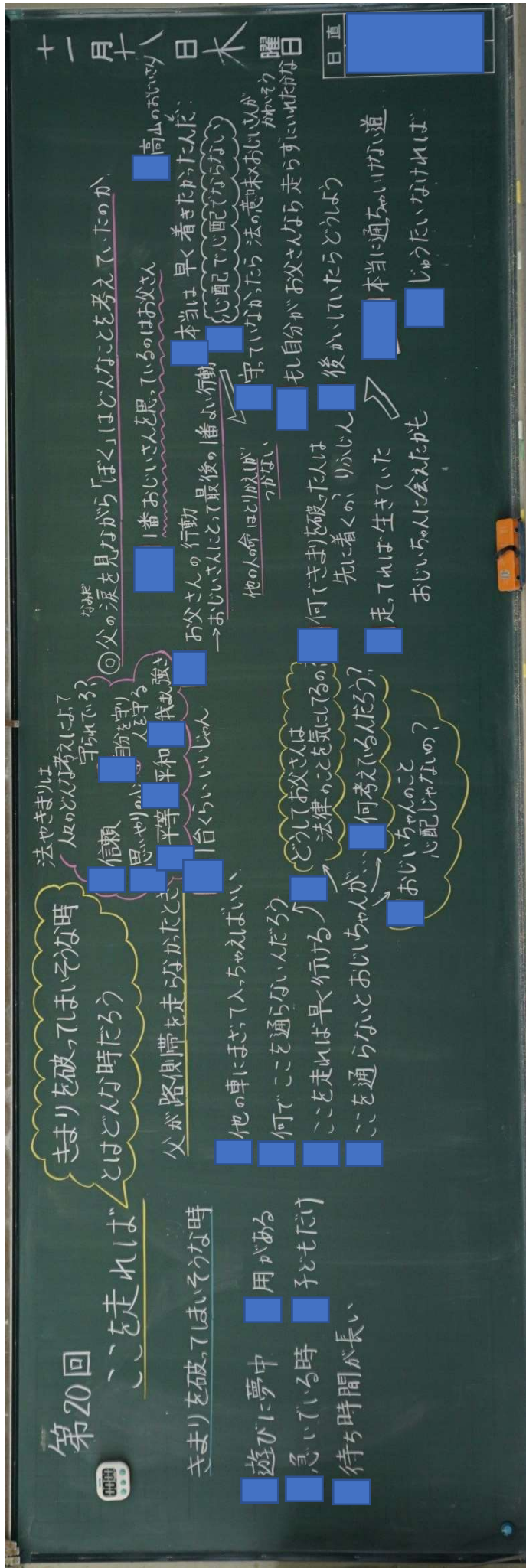
自他の権利を守るために、規則やきまりを守ろうとすることの大切さについて考える。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 きまりを破ってしまいそうな時がどんな時かを考える。 ・急いでいるとき。 ・遊ぶことに夢中になりすぎているとき。	○日々の生活の中で、ついきまりを破ってしまったときの経験を想起させる。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">父が路側帯を走らなかったとき、「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいちゃんが死んでしまいそうなのに、規則を守らなければいけないのか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">父の涙を見ながら「ぼく」はどんなことを考えていたでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんが一番おじいちゃんのところへ行ったかったんだ。 ・もしお父さんがきまりを守っていなかったら、おじいちゃんが悲しんでいたかもしれない。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;">法やきまりを守ることは、どうして大切なんでしょう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが安心して暮らせるため。 	○ただ急いでいるのではなく、倒れたおじいさんに早く会いたいという思いに駆られていることを押さえる。 ○早く目的地に行きたい気持ちはみんな同じで、誰よりもおじいちゃんに会いたかったお父さんの気持ちを考えさせる。また、それでもきまりを守ったお父さんの思いについて考えさせたい。 ○これまでの話し合いをもとに考えさせる。
終 末	3 今日の授業を振り返る。 4 先生の話聞く。	○自転車のながら運転の危険性を呼びかける動画を見せ、情報機器を使ったながら運転の危険性や、誤った使い方をすることで、周りの人に迷惑がかかってしまうことを話す。

○ 評価

お互いの生活を守るために、規則やきまりは必要なものであることを理解し、進んで守ろうとする意識を高めることができたか。



【修正授業案で行った授業後の板書↑】

【教師の説話前に

流した動画→】 <https://youtu.be/b0STXtBbRjo>



文部科学省選定

学校教育教材	中学校生徒向き	特別活動
学校教育教材	高等学校生徒向き	特別活動
社会教育(教材)	少年向き	地域社会生活(交通安全・防犯)
社会教育(教材)	青年向き	地域社会生活(交通安全・防犯)

【予告編】知ってほしい、自転車加害事故の現実 自転車通学をする生徒・学生のみなさんへ

10education

チャンネル登録 5480人

チャンネル登録

156

共有

保存

...

1.8万回視聴 2年前

たった一度の場だが、被害者はもちろん、加害者やその家族の人生をも一変させてしまう、自転車加害事故。この教材では、実際にあった事故の裁判記録をもとに、加害事件を起こすこととなるのか、どうすれば事故を防げるのかを検証していきます。交通安全の大切さを知るために、そして自転車通学ルールの基本を学ぶ、もっと知る

⑬ よりよい買い物の仕方を考えよう

<家庭科教科書P61>

○ 題材の計画 【よりよい買い物の仕方を考えよう】

- ①何にお金を使っているのだろう
- ②買う前に考えることは何だろう
- ③買い物の仕組みって何だろう (本時)
- ④身近なものの選び方・買い方を考えよう
- ⑤商品から情報を収集・整理しよう
- ⑥工夫して買い物をする計画を立てよう

○ 本時のねらい

- ・買い物の仕組みや様々な買い物の仕方について理解するとともに、契約の基本的な考え方について理解する。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 教科書 P61「買い物の仕組み」の①～④のうち、買い物の約束が成立するのは何番か考える。	○契約という言葉を押さえ、口頭でもこの契約が成立することを知らせる。(答えは②)
展 開	2 消費者と売り手のロールプレイを見て、売買契約の基礎を確認する。 ・お金を払う前に、契約が成立しているんだ。 ・レシートは、きちんと受け取らないといけないんだ。 3 契約売買での注意点を確認する。 ・子どもでも契約が成立するから気をつけないといけないね。 ・商品券やいろいろなカードでも買い物ができるよ。	○ロールプレイで動きを見て、契約成立の場面を視覚的にも確かめさせる。 ○インターネット上の買い物での契約成立場面にもふれる。 <u>事業者からの承諾の通知が消費者に到達した時点</u> ○消費者の都合だけでは返品ができないことを押さえる。 ○インターネットの売買では、子どもだけの判断でしないで、大人に確認することを押さえる。
終 末	4 買い物の仕組みについて振り返る。 ・コンビニなどの買い物でも意識したい。 ・エコバッグを利用することで、ゴミの削減に協力したい。	○ワークシートに、売買契約の仕組みや注意点をまとめさせる際に、消費者として配慮する点も考えさせる。

○ 評価

- 買い物の仕組みや様々な買い物の仕方について理解するとともに、対面の売買でもインターネットによる売買でも、契約の基本的な仕組みについて理解することができたか。

買い物の仕組みって何だろう

5年（ ）組（ ）番（ ）

契約成立は いつ？	（ ）番
売買契約の 基礎	
売買契約の 注意点	
ま と め	

⑭これって法律違反なの？

○ 目標

- ・パスワード管理の重要性を確認する。
- ・他人のIDとパスワードでログインしただけで法律違反になることを知る。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 パスワードが他人に知られるとどんな被害があるか確認する。 ・なりすまして、情報を発信される。	○パスワードが漏れると、どんな危険があるか確認させる。
展開	2 教材の前半を読んで話し合う。 B君は、どのようなことをしたのでしょうか ・A君のパスワードを盗み見て、勝手にログインした。 A君に、問題はありませんでしたか ・人が見ているところで、パスワードを入力した。	○パスワードを見るだけでなく、勝手にログインしたことを押さえる。 ○A君にも落ち度があることを押さえる。
開	3 教材の後半を読む。	○「不正アクセス禁止法」という法律があることを紹介し、勝手にログインしただけで法律違反になることを強調する。
終末	4 授業を振り返る。	○法律違反だからだめということよりも、法律違反になるほどいけないことだという点を押さえる。

○ 評価

無断で他人のIDとパスワードでログインしただけで法律違反になることを知り、パスワード管理の重要性を確認できたか。

※後半の資料として、「不正アクセス禁止法」警視庁のハイパーリンク

[不正アクセス 警視庁 \(tokyo.lg.jp\)](https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp) より

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/cyber/law/fusei_access.html

【資料は次ページにあります】



「これって法律違反なの？」

ある日の社会科の授業のことです。この日の授業は、地域の伝統について、インターネットを利用して調べる授業でした。みんな、前の時間の体育の授業から急いでコンピュータ教室に移動しました。B君は、自分の席に着くと、すぐさま目の前のパソコンを立ち上げ、ログインしました。この学校では、授業時間の前までにログインするようになっていたのです。

「キンコーン、カーンコーン」

授業開始のチャイムが鳴りました。日直が開始の号令をかけようとしたとき、あわててA君がコンピュータ教室に入ってきました。B君はA君の隣の席でした。

「体育の授業の片付けチェックで遅くなりました。」

A君は、体育係で、みんなの片付けの確認をされていて遅くなったのです。社会科の先生も、開始の号令を止めさせ、A君がログインするのを待ちました。先生は、

「待っている間、他の者は、教科書の〇ページを読んでいなさい。」

と言いました。A君は、B君の隣に座り、すぐにログインしていました。B君は、教科書を読まずに、隣のA君の様子を見ていました。すると、A君のパスワードが見えて、わかってしまいました。

（あっ、A君のパスワードがわかった。もしかして、僕がやってもA君でログインできるのかな。）

B君は、興味半分でA君のパスワードで再びログインしました。

（お、入れたぞ。）

少し、満足したような気持ちになって、自分のパスワードで入り直しました。

ちょうどその頃に、先生が開始の号令の指示を出しました。



授業が終わり、B君が教室に戻ろうとしたとき、すぐさま先生がB君を呼んで言いました。

「B君、ちょっといいかな。君は、授業が始まる時、A君のパスワードを見て、A君のパスワードでログインしたね。」

B君は、

「すみません。でも、僕はログインしただけで、何も悪いことはしていません。すぐに自分のパスワードでログインし直して、授業にも支障はありませんでした。」

と答えました。しかし、先生は、

「いや、ログインしただけでもだめだぞ。これは、法律にも違反する行為なんだ。」

その後、続けて先生から指導を受けました。この指導で、B君は、人のパスワードでログインするとその人に大きな被害が生じることがあることやログインしただけでも法律違反になることを知りました。これから、自分が気をつけるとともに、友達にも教えてあげようと思いました。



⑮消費者の権利と責任

<家庭科教科書P252>

○ 題材の計画 【消費者被害と消費者の自立】

①なくなる消費者被害

「ワンクリック詐欺」や「定期購入の条件に気づかない」にふれる

②消費者を支えるもの

③消費者の権利と責任 (本時)

○ 本時のねらい

・身近な事例をもとに、消費者の権利と責任について考える。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 教科書 P252 の事例があったらどうするか考える。また、同じようなトラブルがあったら発表する。 ・ドーナツを買ったお店に問い合わせる。 ・マックで頼んだ商品が袋に入っていなかった。	○売買の問題は、いつ誰にでも起こりうることを押さえる。
展開	2 消費者の8つの権利と5つの責任について確認する。 ・こんな権利や責任があったんだ。 3 消費者の権利と責任について具体例(教科書 P254～)を挙げて考える。 ・これまで、こんなに考えてものを買ったことなかった。 4 導入で出たトラブルについて、どう行動するのかをグループごとに考える。(必要に応じてICTを活用する) 5 考えた行動をグループごとに発表する。	○対面売買でもインターネット売買でも同じであることを押さえる。 ○商品によって、権利や責任は一つではないことを押さえる。 ○権利を主張することは、責任を遂行する必要があることも押さえる。
終末	4 消費者の権利と責任について振り返る。 ・いろいろな視点で、きちんと考えて購入するようになりたい。	○これまで自分がしてきた売買と授業で知ったことを合わせて、これからどうしたいかを考えさせる。

○ 評価

消費者の権利と責任について理解するとともに、対面の売買でもインターネットによる売買でも、消費者として適切に行動していく大切さを理解することができたか。

⑩ 勝ち負けが決まらないゲーム

○ 目標

- ・ネットワークはみんなで使うものであることに気づき、お互いに自分勝手な行動を取らないように気をつけて利用しようとする態度を身に付ける。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 インターネットの利用目的や問題点について 振り返る。 ・LINE でメッセージを送ったことがあるよ。 ・オンラインゲームでけんかになったな。	○自分事としてとらえやすいように、児童の経験を確認する。
展開	2 教材の前半を読んで話し合う。 途中でゲームを止めてしまったA君は、どんな気持ちだったのでしょうか ・ゲームに負けてつまらない。 ・いやな思いをしたくない。	○登場人物の立場が分かるように板書する。 ○この時のA君の気持ちを確認する。
	3 教材の後半を読んで話し合う。 ゲームの相手が突然ゲームを止めたときのA君は、どんな気持ちだったのでしょうか ・いいところだったのに、悔しい気持ち。 ・勝手に止めて怒れる。 A君やゲームの相手のどこがいけなかったのでしょうか ・自分の思いだけで、途中で止めてしまう自分勝手なところ。	○相手が切断したときの気持ちと昨日のことを思い出したときの両方のA君の気持ちを確認する。 ○オンラインゲーム(SNSを含むインターネットの世界)は、コンピュータの向こうに、実際の相手がいることを押さえる。
終末	4 授業を振り返る。	○ゲームにかかわらず、インターネットを利用することは、相手がいることに気づいた人の文を紹介する。

○ 評価

- ゲームにかかわらず、インターネットを利用することは、相手がいることに気づき、自分勝手な行動をしないようにする意識を高めることができたか。

【資料は次ページにあります】



「勝ち負けが決まらないゲーム」

最近オンラインゲームを始めたA君。これまで、なかなか買ってもらえなくて我慢してきたため、やっと手に入れたこともあり、毎日かかさずゲームをやっています。特に、対戦型のオンラインゲームに夢中になっていました。

そんなある日、

「今日は調子が悪いなあ。」

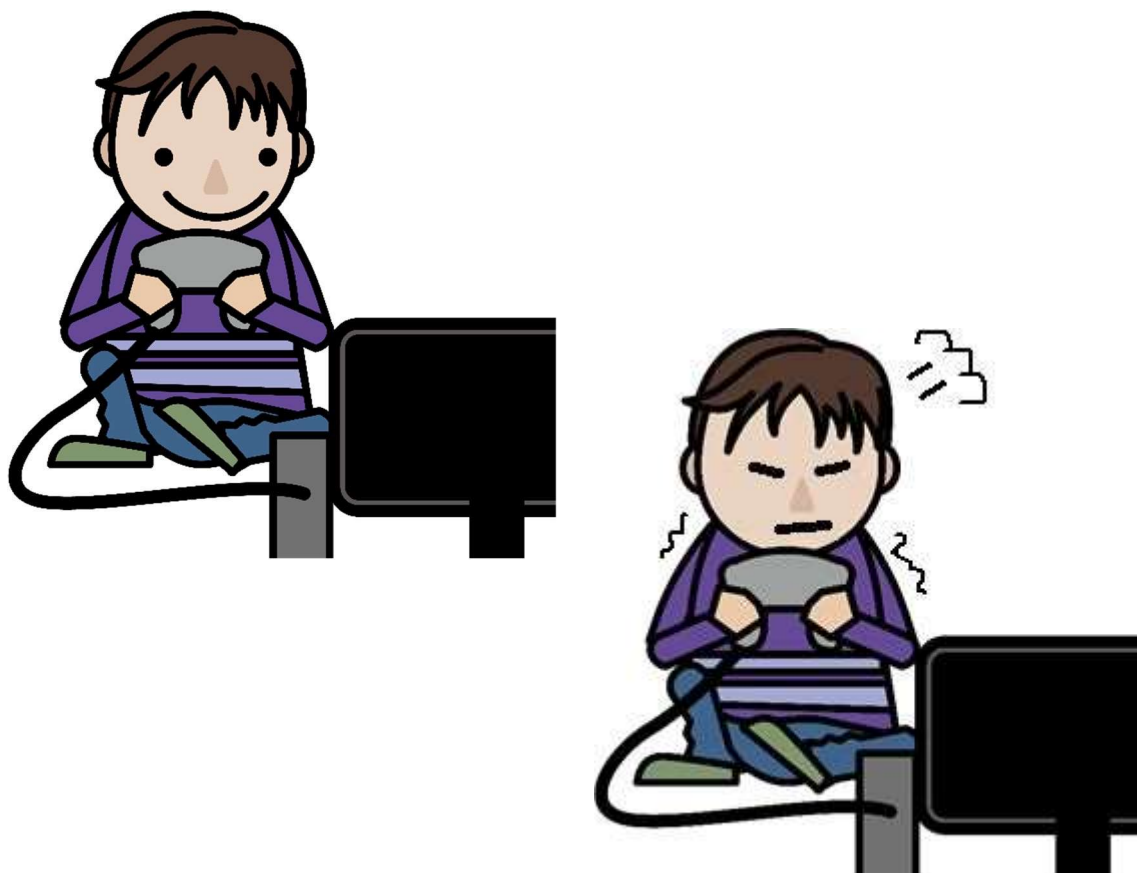
今日は、何回やっても勝てません。

「だめだ、相手を変えてもう一度やってみよう。」

何回やっても勝てないので、相手を変えて対戦することにしました。しかし、その対戦でも…。

「やばいぞ、このままだと、また負けてしまう。こんなじゃ、つまらない！
もうやめだ！」

と言って、対戦途中で、いきなり電源を切ってしまいました。この日は、モヤモヤした気分だったので、お風呂に入ってすぐに寝てしまいました。



次の日、学校が終わり、家に帰って宿題をして、A君がゲームを始めました。

「おっ、今日は調子がいいぞ。これなら勝てそうだ！」

今日のA君は、調子がいいようです。昨日のこともあって、気分も上がってきました。

「よし、次で最後の一撃だ！」

と思って、ボタンを押そうとしたときです。いきなり画面が真っ黒になりました。

「どうしたんだろう。壊れてしまったのかな。」

A君は、心配になりましたが、しばらくすると画面に

対戦相手がゲームを中断しました・・・

というメッセージが表示されました。これを見たA君は、

「なんだよいいところだったのに！」

と怒れてきました。しかし、A君は昨日のことを思い出しました。

「そういえば、昨日も自分が・・・。」

そんなとき、お母さんの声が聞こえてきました。

「晩ご飯ができたわよ。Aの好きなハンバーグよ。はやくいらっしゃい。」

Aは大好きなハンバーグを食べても、あまりおいしいと感じることができませんでした。



⑰言葉の向こうに

【B-（9）相互理解，寛容】

○ 目 標

多くの人が SNS を利用している実情を背景に，主人公の行動や気持ちを考えることで，人それぞれにいろいろなものの見方や考え方があることを理解し，寛容の心を育てる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される生徒の発言	指導上の留意点
導 入	1 SNS を身近なものとしてとらえる。 SNS を使っていて，嫌な経験やトラブルになったことはありますか ・掲示板に好きな芸能人の悪口が書いてあった。 ・知らない人と SNS 上で言い争いになった。	○教材理解を助け，関心を高めるために SNS の例を挙げる。 ○身近な問題であることを意識させるために，時事問題などの具体例を話題にする。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 「負け惜しみなんて最低。悔しかったら，そっちもゴール決めたら。」と書き込んだ加奈子の対応をどう思いますか ・相手が先に悪口を書き込んだから仕方がない。 ・加奈子も言い返しているから悪い。 ・お互いに悪口を言っているから，両方悪い。 日常と SNS 上の会話とでは何が違うのかな ・顔が見えないから，言いたいことが正しく伝わりにくい。 ・自分のことを知らない人が相手だから，無責任に発言してしまうことがある。 加奈子が思い出した一番大事なことは何だろうか ・いろいろな考え方があるのは当然。 ・多くの人が見ているから，見る人の気持ちを考えることも大切。 ・顔が見えなくても相手への思いやりは大切。	○加奈子の対応について，多面的にとらえさせるために，肯定と否定の両方の立場で考えさせる。 ○多様な考えを引き出すために，ペアやグループで話し合う時間をとる。 ○言葉だけでは，正しく伝わらないことがあることを理解させるために，SNS 上の会話と日常会話の違いを考えさせる。 ○会話はその場限りだが，SNS は永久に残ることにふれる。 ○寛容な行動の大切さに気付かせるために，無責任さを取り上げる。 ○言葉の向こうにいる人々の顔を思い浮かべることが大切であるということに気付かせるために，加奈子は最後に何とコメントするだろうか考えさせる。
終 末	3 今日の授業で学んだことを振り返り，これからの生活で心がけたいことについて書く。	○これからの行いについて具体的に考えさせる。

○ 評 価

人にはそれぞれ考え方があり，相手の立場になって物事を考え，寛容な心で他者と接することが，望ましい人間関係を築く上で大切であることに気付くことができたか。

【資料は次ページにあります】



ずっと待たされていた母は不機嫌そうだった。

「ごめんごめん。ちと調ぶてたらつい長くなっちゃって。」

「そうなの。なんだかこわい顔してたわよ。加奈ちゃん、こっちに顔を向けて話さないよ。」

「はい、分かりました。ちゃんと時間守ります。お母さんの御飯おいしいよね。」

そう言いながらも、私の頭はA選手へのあのひどいコメントのことでいっぱいだった。

「まったく調子いいんだから。でもね、ほんとにかどうか目を見れば分かるのよ。」私は思わず顔を上げて母を見つめた。その表情がおかしかったのか、母がざつと吹き出した。つられて私も笑った。急におなかがいきてきちゃった。

食事の後、サイトがどうなっているか気になって、恐る恐るパソコンを開いてみた。

「ここにA選手の悪口を書く人もマナー違反だけど、いちいち反応して、ひどい言葉を向ける人、ファンとして取すかしいです。中傷を無視できない人はここに来ないで。」

ええーっ。なんで私が非難されるの。A選手を必死でかばってるのに。

「A選手の悪口を書かれて黙っていろつて言うんですか。こんなこと書かれたら、見た人がA選手のことを誤解してしまうよ。」

「あなたのひどい言葉も見られてます。読んだ人は、A選手のファンはそういう感情的な人たちだと思ってちゃ



いますよ。中傷する人たちと同じレベルで争わないで。」

なんで私が責められるのか全然分からない。キーボードを打つ手が震えた。

「だて悪いのは悪口書いてくる人でしょ。ほっとけつて言うんですか。」

「挑発に乗っちゃ駄目。一緒に中傷し合ったらきりがないよ。」

優勝を喜び合った仲間なのに。遠くのみんなとつながってるって、今朝はあんなに実感できたのに。なんだか突然真つ暗な世界に一人突き落とされたみたいだ。

もう見たくない。これで最後。と、もう一度画面を更新した。

「まあみんな、そんなきつい言い方するなよ。ネットのコミュニケーションって難しいよな。自分もどうしたらいいかなって、悩むことよくある。失敗したな一つとときも。」

「匿名だからこそ、あなたが書いた言葉の向こうにいる人々の顔を思い浮かべてみて。」

えっ、顔。思わず私はもう一度読み直した。そして画面から目を離すと椅子の背にもたれて考えた。そうだ……。駄目だなあ。何で字面だけにとらわれていたんだろう。一番大事なことを忘れていた。コミュニケーションしているつもりだったけど。

私は立ち上がり、リビングの窓を大きく開け、思いつきり外の空気を吸った。

「加奈ちゃん。調べ物はもう終わったの。」

台所から母の声がする。

「調べ物じゃないの。すっぴんこと発見しちゃった。」

私は、明るい声で母に言った。

文部科学省「私たちの道徳 中学校」

言葉の向こうに

夜中にはつと目が覚めた。すぐにベッドから起き出してリビングへ降り、パソコンの電源をつける。画面の光が部屋の片隅にまぶしく広がった。

私は、ヨーロッパのあるサッカーチームのファン。特にエースストライカーのA選手が大好き。ちょうど今頃、向こうでやっている決勝の試合が終わったはず。ドキドキしながら試合結果が分かるサイトをクリックした。

「やった、勝った。A選手、ゴール決めてる。」

思わず声が出てしまった。大声出したら家族が起きちやう。そと一人でガッツポーズ。

みんなもう知ってるかな。いつものように日本のファンサイトにアクセスした。画面には「おめでとう」の文字があふれている。みんな喜んでる。うれしくて胸が一杯になった。私もすぐに「おめでとう」と書き込んで続けた。

「A選手やったね。ずっと不調で心配だったよ。シュートシーンが見たい。」

すると、すぐに誰かが返事をくれた。

「それなら、観客席で撮影してくれた人のが見られるよ。ほら、ここに。」

「Aのインタビューが来てる。翻訳も付けてくれてる。感動するよ。」

画面が言葉で埋め尽くされていく。私は夢中で教えられたサイトを次々に見に行った。

学校でもサッカーの話をするけど、ヨーロッパサッカーのファンは男子が多い。私がA選手をかつこいいよね、つて言っても女子同士ではあんまり盛り上がりがない。寂しかったけど、今は違う。ネットにアクセスすれば、ファン仲間がいっぱい。もちろん顔も知らない人たちだけど、今この瞬間、遠くの誰かが私と同じ感動を味わってる。なんか不思議、そしてうれしい。気がつくともうすぐ朝。続きはまた今夜にしよう。

今日は部活の後のミーティングが長かった。家へ帰ると、食事を用意して待つていた母に、

「ちよと待つてて。」

と言って、パソコンに向かった。優勝後のインタビューとか、もつと詳しく読めるかな。楽しみ。

「Aは最低の選手。あのゴール前はファールだよ、ずるいやつ。」

聞いた画面から飛び込んできた言葉に、胸がどきどきした。何、これ。

「人気があるから優遇されてるんだろ。たいして才能ないのにスター気取りだからな。」

ひどい言葉が続いてる。読み進むうちに顔が火照ってくるのが分かった。

怒りで一杯になって夢中でキーボードに向かった。ファンサイトに悪口を書くなんて。

「負け惜しみなんて最低。悔しかったら、そちらもゴール決めたら。」

すると、また次々に反応があった。

「向こうの新聞にも、Aのプレイが荒いって、批判が出てる。お前、英語読めないだろ。」

「Aのファンなんて、サッカー知らないやつばかり。ゴールシーンしか見てないんだな。」

「Aは、わがまま振りがチームメイトからも嫌われてるんだよ。」

必死で反論する私の言葉も、段々エスカレートしていく。でも絶対負けられない。

「加奈子、いい加減にしなさい。食事はどうするの。」

母の怒った声。はつと気付いて時計を見た。もう一時間もたつてる。

「加奈ちゃん、パソコンは時間を決めてやる約束よ。」

⑱ スマホ時代のキミたちへ

○ 目標

- ・インターネットを使うときはきまりを守る。
- ・なるべく大人の人といっしょに使い、何かあったときにすぐに大人の人に確認すること。
- ・知らない人に連絡先を教えないこと。
- ・決められた利用の時間や約束を守る。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 資料の表面の問いをみんなでやる。	○同じような経験のある子がいるか確認する。
展開	2 資料の裏面を教師が範読しながら、1の答えとともに説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1 スマホやネットを使いすぎないように ①夜遅くまで遊ばない！ ②買うときは家の人と相談する ③登録も家の人と相談する 2 他人を傷付けたりしないように ①人のものを勝手にネットに上げない ②動画を見るときは時間を決めて ③悪口はやめよう </div>	○児童に語りかけるように、例を挙げながら説明する。
終末	3 授業を振り返る。	○安全な使い方を知り、「○○に気をつけて使いたい。」を言う考えをとりあげ、全体に伝える。

○ 評価

インターネットを利用することは、きまりを守り、いつも大人に確認をしてもらえるような状況で使うようにするという意識を高めることができたか。

【資料は次ページにあります】





スマホ時代のキミたちへ

スマホやネットばかりになっていない？

小学校低学年用 2021年版

クラスメイトや
お家の人と
考えてみよう

よくないところ、よく考えて決めるところに○をつけてみましょう。

1 ゲームをまわつていたら

午後 11:20

ゲーム用コインショップ

コインを
使うと
レアキャラが
もらえるよ!

- ゲーム用コイン 10まい 200円
- ゲーム用コイン 50まい 950円
- ゲーム用コイン 100まい 1800円
- ゲーム用コイン 200まい 3400円

会員登録ろくでコインむりよう!

2 好きな動画を見たら

午後 5:15

アニメ〇〇 第1話
(●月●日 テレビ局▲▲にて放送)

次の動画
自動さい生

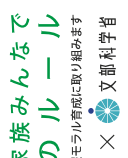
アニメ〇〇
第2話

コメント
〇〇おもしろいね!
おもしろくないよ

コメント入力 つまらない 送る



考えよう 家族みんなで
スマホのルール
私たちは子供たちの情報モラル習得に取り組みます



文部科学省

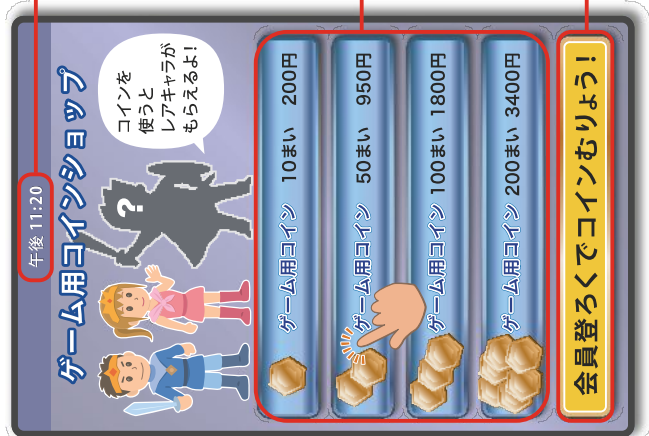


文部科学省ホームページ
「情報モラル教育の充実」



1 スマホやネットを使いすぎないようにしよう

ゲームをずっとやっていたら



① 夜遅くまで遊ばない!

- 遊ぶ時間を決めましょう。
- 決めた時間を守りましょう。
- 早寝、早起きしましょう。

② 買う時はお家の人に相談して!

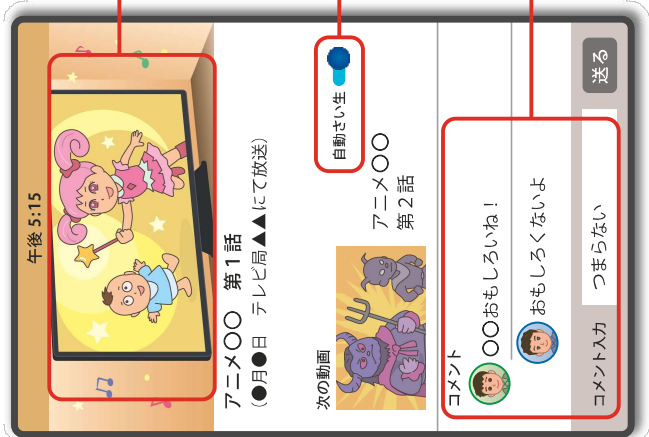
- ほしいものがある時は、お家の人に相談しましょう。

③ 登るくはお家の人に相談して!

- 名前・住所・電話番号などの個人情報を入力するときは、お家の人に相談しましょう。
- ゲームで知り合った人に個人情報を送信したらだめだよ。

2 他人の人をきずつけたり、権利を侵害したりしないようにしよう

好きな動画を見ていたら



① 違法なアップロードやダウンロードはダメ!

- 他人の作った音楽やマンガなどをそのままアップロードするのは違法だよ。
- 違法にネットにアップロードされたものだと知っててダウンロードするのも違法だよ。

② 動画を見るときは時間を決めて!

- 自動再生すると、やめられなくなるよ。
- 時間を決め、はじめを止めましょう。

③ 悪口はやめよう!

- 誰かをきずつける書き込みはだめだよ。
- 誰が書いたか分かることもあるよ。

保護者の皆様へ

近年、SNSで誹謗中傷等を行った事例や、騙されて下着姿や裸の写真を撮影して送信する等の児童ポルノ禁止法に関する事例も報告されており、子供たちがインターネット上の犯罪等の被害者や加害者にならないようにするなど、適切な指導が必要となっています。

文部科学省では、お子様のインターネット使用時や、スマートフォンを持たせる際には、携帯電話会社などが提供する「フィルタリングサービス」の設定をお願いしています。フィルタリングは、お子様にとって不適切な情報（薬物・成人動画など）へのアクセスを遮断したり、インターネット上でのトラブルを防いだりするのに役立ちます。

本リーフレットは、トラブルが起こってしまう前に「ちょっと待って!」と子供たちに一歩立ち止まらせ、自ら考えさせる内容になっています。日頃から御家庭で、お子様の安全を第一にインターネットやスマートフォンなどの使い方を話し合っていたらどうお願いいたします。

もしトラブルに巻き込まれたら…相談窓口

いじめ問題などの相談窓口(児童生徒/保護者対象)

文部科学省 24時間子供SOSダイヤル…0120-0-78310 (受付時間:24時間)

インターネット上の悪口、無断掲載などの相談窓口

インターネット人権相談受付窓口…<http://www.jinken.go.jp>
 子どもの人権SOS-eメール…https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_CH/0101.html
(受付時間:平日午前8時30分～午後5時15分)

生活の安全や不安に関する相談窓口(児童生徒/保護者対象)

最寄りの警察署または警察相談専用電話…#9110

都道府県警察の少年相談窓口…<http://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/soudan.html>

チャイルドライン 18歳以下の青少年対象の相談窓口…<http://www.childline.or.jp>
(受付時間:午後4時～午後9時)

フリーダイヤル0120-99-7777 (受付時間:午後4時～午後9時)

買い物などでのお金についてのトラブル 消費者庁 消費者ホットライン…188
 独立行政法人国民生活センター 全国の消費生活センター等…<http://www.kokusen.go.jp/map/index.html>

⑱インターネットにつながるとき

○ 目標

- ・インターネットを使うときはきまりを守り、安全に使うこと。
- ・何かあったときにすぐに大人の人に確認すること。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 学校以外でのインターネットの使用方法を確認する。 ・お母さんといっしょの時だけやる。 ・自分のタブレットがあるから、部屋で一人でYOUTUBEを見てるよ。	○なるべく自分事として捉えるために、使っている状況を想起させる。
展開	2 資料の裏面を教師が範読しながら、子どもたちのインターネットの使い方をふまえて説明する。 1 パスワードは友達にもヒミツ 2 メールリンクやファイルはすぐには開かない (3はふれない) 4 困ったら大人に相談しよう	○児童に語りかけるように、例を挙げながら説明する。
終末	3 授業を振り返る。	○安全な使い方を知り、「○○に気をつけて使いたい。」を言う考えをとりあげ、全体に伝える。

○ 評価

インターネットを利用することは、きまりを守り、心配なときは大人の人に確認をしてもらうことが大切であるという意識を高めることができたか。

【資料は次ページにあります】





インターネットにつながるとき

守ってほしい、大切なこと

インターネットは便利で大きな可能性があり、世界中とつながることができますが、それを悪用する人もいます。一人一人が意識して自分の身を守ることが大切です。

1 パスワードは友達にもヒミツ

家の鍵と同じで、盗まれるとパソコンに侵入されて悪用されます。誕生日など簡単に分かるのもダメ。できるだけ長くても複雑なパスワードにしてヒミツの場所に保管するか、先生や保護者と相談しましょう。



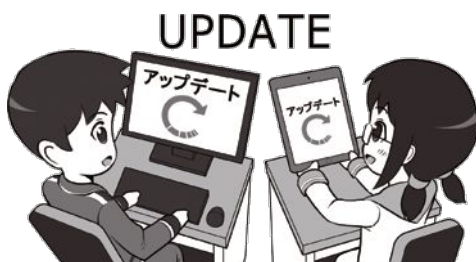
2 メールリンクやファイルはすぐには開かない

パソコンを乗っ取るウイルスが仕込まれていたり、パスワードなどを盗もうとしたりします。LINE などでも同じように注意。不安な気持ちや「心の隙」を突いてきて、知っている人になります。変だと思ったら誰かに確認しましょう。



3 パソコンなどは常に最新の状態で弱点をなくす

アプリやソフトが古いまま弱点が残っていると、そこを悪い人や最新のウイルスが狙ってきます。「後で」にせず、最新にアップデートしましょう。スマホも同じです。ただし、学校のパソコンなどは大人がちゃんと守っているので、自分でする必要はありません。



4 困ったら大人に相談しよう

相談することは悪いことではありません。ここに書いてあるポイントを守っていても、悪い人が狙ってくることもあります。困ったら、一人で悩んだりそのままにしたりせず、詳しい人や信頼できる大人にまずは相談しましょう。



- 「パスワード」について：長くても複雑なほど盗まれにくくなります。アルファベットや数字、記号を組み合わせたものにしましょう。他で使っているパスワードと同じものを使い回さないこと。さらに、パソコンやソフトを使うとき（ログインなどと呼ばれます）、パスワードだけでなく、スマホの機能や指紋認証なども組み合わせれば、もしパスワードが盗まれても守られます。このように、「あなたしか知らないもの（例：パスワード）」「あなたしか持っていないもの（例：スマホに届くショートメッセージ）」「あなた自身を表すもの（例：指紋）」といった別の要素の方法を組み合わせるとログインすることを「多要素認証」と言い、さらに強く守る方法になります。
- 「アップデート」について：パソコンやスマホなどに入っているアプリやソフトは、攻撃で狙われるような弱点が見つければ、作った人がそれを修正して、使っている人に知らせます。これを「アップデート」といいます。いつも使っているアプリやソフトがアップデートするの聞いたときは、速やかにアップデートしましょう。

もっと詳しいことを知りたいあなたへ

そもそも、インターネットって、何だろう？

「コンピュータ」と「インターネット」は違う

今ではコンピュータ（パソコンなど）は当たり前のようにインターネットにつながっていますが、最初のころは全く違いました。パソコン同士で情報をやり取りすることができなかったため、パソコンの世界は目の前のパソコンの中で完結してしまっていました。いわば「閉じた世界」だったのです。

その「閉じた世界」に大きく変化を与えたのが、インターネットの技術です。インターネットによって、世界中のパソコンがつながり、情報をやり取りすることが可能になりました。その結果、パソコンの世界は目の前のパソコンから文字通り世界中に広がりました。いわば「開かれた世界」になったのです。

その変化があまりにも大きすぎたため、「インターネット」という言葉は、その技術によりつなごうとした、「開かれた世界」をも表すようになりました。



「インターネット」が持つ性質

開かれた世界であるインターネットは、次のような点で、閉じた世界とは決定的に違います。

隣の人も世界中の人、いい人も悪い人も、あなたを見ることができる

あなたから世界中のあらゆる人に開かれていると同時に、世界中のあらゆる人からあなたにも開かれています。これまで出会わなかったような悪い人もいて、あなたを攻撃してくるかもしれません。



一度流出した情報は永遠に残ってしまう

パソコンやスマホなどにある写真や友達とのやりとりや大事な情報は、一度流出したら、インターネットを通じてあなたの手の届かない世界の隅々まで広がります。完全に消すのは難しく、発信する前に一回手を止めて考えましょう。



インターネットの「悪い人」は、何をしてくるのか

インターネットの世界で自分を守るには、「悪い人」が何をしてくるのか、代表的な攻撃の手段を知っておくことが有効です。例えばパスワードについては、悪い人は右の図のように見破ってやろうなどと考えています。これを見ると、確かにパスワードは長くて複雑にし、使い回してはいけないとわかります。同様に、メールを使った攻撃やアップデートされていないパソコンへの攻撃などで悪い人が何をしてくるのか想像してみると、「なぜ」そういう注意が必要なのかより分かります。



もっともっと詳しいことを知りたいあなたへ

以下でさらに詳しく解説しています。興味を持ったなら、ぜひ読んでみてください。

- 内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）「インターネットの安全・安心ハンドブック」
- 総務省「国民のための情報セキュリティサイト」
- 情報処理推進機構（IPA）「子ブタと学ぼう！情報セキュリティ対策のキホン」



(令和2年6月)

⑳ こんなホームページが出てきたら

○ 目標

- ・好ましくない（アダルトや暴力など）サイトを見ないようにする態度を身に付けるとともに、不意にそういったサイトが表示されたときの対応を知り、そうしたときに友達はその子をからかわないようにする。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 インターネットで、自分が見たくないのに見てしまった経験を確認する。 ・怖い映像が出た。 ・気持ち悪い動画が流れた。	○故意にそのサイトを探して見たのではないことを押さえる。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">A君は、見たくないのに、なぜ見続けてしまったのでしょうか</div> ・怖いけど続きが気になって見てしまった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">この動画が残酷な動画と分かったときに、A君やまわりの人はどうすればよかったのでしょうか</div> ・わかった時、すぐに見るのをやめればよかった。 ・すぐに先生に言えばよかった。 ・まわりの人は、騒がずにすぐに先生に言えばよかった。	○偶然に見つけたサイトでも、その後、騒ぎになるまで見るのをやめなかったところを押さえる。 ○A君だけでなく、まわりの人の行動にも問題があることに気づかせる。また、それらがなぜいけないのかについても考えさせたい。
終 末	3 授業を振り返る。 4 先生の話聞く。	○だれにでも、こうした不意に見たくないサイトが出てしまうことがあり、その時にまわりがからかうことのないようにすることが大事なことであることを押さえる。

○ 評価

誰でも不意に、好ましくないサイトが表示されてしまうことを知り、そうした時に適切な対応を理解することができる。

「こんなホームページが出てきたら」

ある日の理科の授業のことです。この日の授業は、こん虫について、インターネットを利用して調べる授業でした。

授業が始まると、みんな、黙々と調べを進めていました。A君が「こん虫のつかまえ方」について調べていると、こん虫をつかまえている動画が見つかりました。それを見てみると……。なんと、こん虫をたくさんつかまえてから、そのこん虫たちをひどくいじめている動画でした。

（なんてひどいことするんだ！）

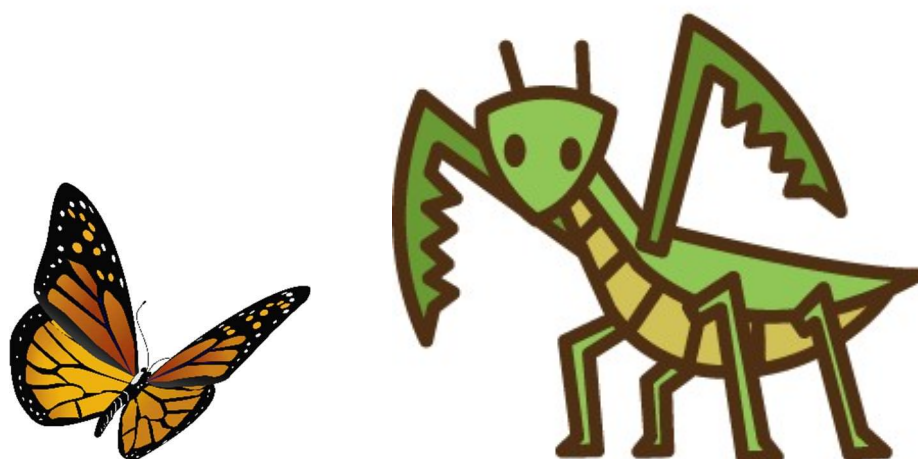
と思いながら見ていたところ、となりの子がA君の画面を見て、

「なんて動画を見ているの!？」

とさげびました。それから教室は大さわぎになってしまいました。A君は、動画を止めて、

「僕だって見たくて見ていたわけじゃないんだ！」

といったものの、さわぎはおさまりませんでした。A君は、どうすればよかったのかわからず、なやんでしまいました。



②1 ネットの向こうにいる人は？

○ 目標

- ・ ネットでは簡単に他人になりすまることができることを知る。
- ・ 「出会う」ことでどんな危険があるのか理解し、安易に誘いに応じない正しい判断力を身に付ける。
- ・ ネットやSNSの安全な使い方に気づく。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点 ㊦→補助発問
導入	<p>1 LINEやツイッターなど、SNS を利用する時に気をつけることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報を載せてはいけない。 ・ 詐欺などに気をつける。 	<p>○ SNS についての利用状況を確認するのも、自分事として考えさせる手だての一つになる。</p> <p>㊦: 「何のためにルールがあるのかな？」 「ルールって本当に必要なの？」 → 終末の振り返りに生かしたい</p>
展開	<p>2 教材を読んで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">Aさんのとった行動には、どのような問題があったのでしょうか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手が誰なのか正しい情報がないのに、自分のメールアドレスを教えたこと。 ・ 実際に会いに行ってしまったこと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">Aさんは、どうすればよかったのでしょうか</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示板の中だけのやり取りにすればよかった。 ・ メールアドレスを教えるときや、「会おう」と言われたときに、すぐに親や先生に相談すればよかった。 	<p>○ 「個人情報を伝えてしまったこと」と「実際に会うこと」の2点については、必ず押さえる。</p> <p>○ 2つの点の危険性を考えさせた上で、どうすべきか発表させる。</p> <p>※ 掲示板を使わなければいいという意見が多い場合</p> <p>㊦: 「掲示板を使うことがいけないの？」 「便利なものを使っちゃダメなの？」と、揺さぶる。</p>
終末	<p>3 授業を振り返る。</p>	<p>㊦: 「ルールは必要かな？」 → 導入で書いた自分の考えを振り返らせる。</p> <p>○ 掲示板などの SNS の利用が悪いわけではなく、正しく利用すれば、役に立つことが多いことを押さえる。</p>

○ 評価

文字で書かれた情報が全て正しいと判断してしまうと、思わぬトラブルに巻き込まれてしまうことがあることに気づき、大人と相談することの必要性を理解することができたか。SNS等の便利なツールの使い方に気をつけ、安全に利用する大切さに気づいたか。

【資料は次ページにあります】



「ネットの向こうにいる人は？」

Aさんは、小さな頃から犬が大好きで、自分で犬を飼いたくてしょうがありませんでしたが、アパート暮らしで飼うことができませんでした。この春、引っ越しをして、一戸建ての家に住むことになり、念願の犬を飼い始め、マロンと名付けました。しかし、マロンは、自分の言うことを聞かずにいたずらばかりするので困っていました。



そんなある日、Aさんは、ネットで「ペット何でも掲示板」というサイトを見つけました。さっそく見てみると、

「犬に必要な予防接種はどうしたらいいの」とか

「猫のトイレのしつけなら何でも聞いて」など、

ペットに関するいろいろな相談や情報が載っていました。そこでAさんは、

「よし、私もこの掲示板に悩みを投稿してみよう。誰かがいい方法を教えてくれるはず。」

と思い、投稿しました。翌日、その掲示板をみると、Aさんの投稿に返信がありました。この返信は、

「私は、となり町に住むBという20歳の女性です。自分も飼い始めの頃は同じ悩みで苦労しましたが、ある方法で解決し、いまでは、大好きな犬と快適な生活を送っています。くわしくお伝えしたいので、メールアドレスを教えてくださいませんか？」

というものでした。Aさんは、

「やったー。これでマロンのいたずらも直りそうだ。」

このあと、数回Bさんとのメールのやり取りをして、少しずつマロンのいたずらもおさまってきました。

しばらくして、Bさんから、

「実際、マロンにどう接するとよいか教えてあげる。マロンにも会いたいし。」

とメールが来ました。安心しきっていたAさんは、次の日曜日にとり町のお公園で3時に会う約束をしました。

そして日曜日、3時に公園で待ち合わせをしていると、知らない男の人が近づいてきて、

「Aさん、きてくれてありがとう。」

Aさんは、

(あれ?Bさんは、女性のはずだったのに・・・。)

と驚くとともに、怖くなってこのあとどうしたらいいか分からなくなっていました。



②② 幸せがやって来るメール？

○ 目標

- ・チェーンメールの問題点を知り、適切に対応する判断力を養う。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点 ㊦→補助発問
導入	1 メールを使ったことがあるかを確認する。 ・自分はないよ。 ・お母さんのスマホをかりてやったことがある。	○児童の利用状況を確認する。
展開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">お話を聞いてどう思いましたか？</div> ・幸せが来るなら送りたい。 ・こんなことで幸せになるわけがない。 ・自分にも似たメールが来たことある。届いた。	○子どもの発言を板書で整理する。 (十分に感想を交流する) ㊦:「何で A くんはメールを送ってしまったのかな?」「送ったらどんなことが起きるかな?」と、問い返し、考えを深める。
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">もし、自分のところに同じようなメールが来たらどうしますか</div> ・親に相談する。 ・送ってきた人に注意してあげる。 ・無視してほかっておく。	○情報を正しく判断することの大切さや大人に確認することも必要であることを押さえる。
終末	4 教師の話聞く。	○こうしたメールの多くは、面白半分であり、通信障害を起こすことがあること、通信障害が起こると大切な連絡や緊急の連絡ができなることがあり、迷惑がかかることを触れる。

○ 評価

- チェーンメールなど知らないメールは危険がひそんでいる場合があることを理解し、よく考えて行動したいという思いをもつことができたか。

「幸せを広めるメール？」

A君は、AB小学校に通う6年生です。A君は、最近スマホを買ってもらい、毎日、操作の練習をしているところです。

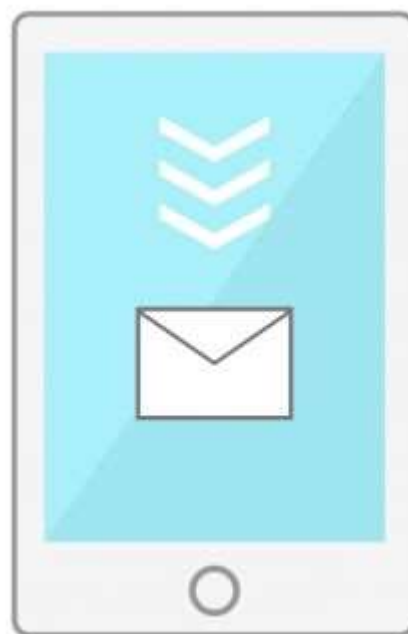
ある日、A君のスマホに、友達のB君から次のようなメールが届きました。

幸せのメール	From B

これは、幸せのメールです。	
このメールを受け取ったらすぐに、他の5人にこのメールを送ってください。あなたがメールを送った人には幸せなことが起こります。メールを送って、幸せを広めましょう。	
もし、このメールを勝手に止めたり、1時間以内に5人に送らなかった場合には、あなたに不幸が起きます。	

このメールを受け取ったA君は、すぐに自分が知っている人5人にこのメール文をコピーして、送りました。

しばらくすると、A君のスマホには、同じ内容のメールが何通も届き続け、スマホの操作の練習もできなくなりました。



②③情報セキュリティ

<技術教科書P228>

○ 題材の計画 【情報セキュリティと情報モラル】

①情報セキュリティ (本時)

②情報モラル

③知的財産の保護と活用

○ 本時のねらい

- ・情報セキュリティの重要性と危険を防ぐための技術を知る。
- ・基本的な情報セキュリティの対策を実施できる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 サイバー犯罪の事例を知る。	○インターネットで「サイバー犯罪」で検索させ、様々な種類の犯罪があることに気づかせる。
展開	2 教科書 (P228～P231) を利用して、様々な情報セキュリティを知る。 ・ファイヤーウォールやソフトウェアの更新 ・フィルタリング ・暗号化 (SSL など) ・バックアップ	○様々な事例に対応したセキュリティがあることを知らせ、その重要性を理解させる。 ○「情報セキュリティの3要素」を板書し、犯罪例を取り上げる。
開	3 簡単な暗号を使って、生徒同士で通信の体験してみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;">CAR (車) → DBS</div>	○「アルファベットを1文字ずつずらす」という暗号を用い、単純だが、仕組みを知らなければ安全に通信できる方法があることを押さえる。(必要ならアルファベット表を用意)
	4 2段階認証について知る。	○最近の情報セキュリティ技術にもふれ、さらに意識を高める。
終末	5 学んだことを自分の生活で生かす方法についてまとめる。	○自分が扱っている情報管理について、今後セキュリティを生活に生かしていこうという意見を取り上げ、全体に広げる。

○ 評価

情報セキュリティの重要性と危険を防ぐための技術を知り、基本的な情報セキュリティの対策をしようとする意識を高めることができたか。

情報セキュリティ 情報を安心・安全に利用するための技術や対策

() 年 () 組 () 番 ()

◇サイバー犯罪の事例を調べよう

いつ	内容

◇様々な危険に対する情報セキュリティ

危険	情報セキュリティ	注意点
不正な利用・侵入	・ ・	
不正プログラム	・ ・ ・	
情報漏えい	・	
万が一に備える	・	

◇文字を暗号化して伝えよう

- ・送りたいメッセージ —— 「CAR (車)」
- ・暗号化する仕組み —— 「アルファベットを1文字ずつ後にずらす」
- ・暗号化されたメッセージ —— 「 」
- ・復号する鍵 —— 「アルファベットを1文字ずつ前にずらす」

<自分で考えた暗号で隣の人と通信しよう>

◇これからの生活で気をつけること

②4嘘？本当？

○ 目標

- ・情報というものは、正確に伝わらないことがあり、特にインターネット上には、故意に嘘の情報を流す人がいることを知り、気をつけることが必要であることを理解する。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 クラスを二分して伝言ゲームをする。 ・思っていたよりも、正しく伝わらなかった。	○正しく伝えようとしても、意外と正しく伝わらないことがあることを理解させる。
展 開	2 みんなの生活の中で、どこから情報が入ってくるのか確認をする。 ・テレビや新聞。 ・インターネット。 ・友達(人)から聞く。 3 資料「熊本地震のライオン」をみる。 (最近のデマニュースに変えてもよい) 4 ニュースや写真を見て、みんなも間違っただ情報に流されないようにするにはどうしたらいいのか話し合う。 ・情報が出てきた時に何でも信じてしまうのは良くない。 ・嘘の情報を流す人がいるから、気を付けて生活していかないといけない。	○情報は他人事ではなく、自分たちの身近にたくさんの情報を手に入れる機器があることに気づかせる。 ○インターネット上には、わざと嘘の情報を流す人がいることを理解する。 ○情報、特にインターネット上の情報については、全てを正しいと判断することは危険であり、気をつけなければならないことに気づかせる。
終 末	3 先生の話聞く。	○写真なども、今では加工ができるなど、情報の取り扱いには十分気をつけることが大切であることを押さえる。

○ 評価

情報、特にインターネット上の情報については、全てを正しいと判断することは危険であり、気をつけて取り扱うことが必要であると理解することができたか。

【資料は次ページにあります】



「じょうだんから始まった 豊川信用金庫事件」

1973年、「豊川信用金庫事件」という事件がありました。

豊川信用金庫がつぶれてしまうという不安から、お金をあずけている人がお金をおろそうと、たくさん集まってしまったという事件です。

この始まりは、女子高生たちの「信用金庫は(銀行強盗におそわれるから)危ないよ」というじょうだんでした。

ただ、豊川信用金庫ではたらくことが決まっていた同級生を、友だちが電車の中でじょうだんでからかっただけです。しかし、その話を聞いた人が「豊川信用金庫は危ない(つぶれるかもしれない)」と、話の内容をかんちがいして家族に伝えたことから始まり、それがすぐにうわさとなって町中に広がりました。このため、おかねをあずけている人たちが信用金庫におしよせ、短い間に20億円ものお金が引き出されるパニックへと広がっていきました。うそならぬ「じょうだんから出たまこと」です！

ちょっとした話が、どんどん尾ひれをつけながら広がっていき、豊川信金側が「倒産などの危険性はない」と言っても、なかなか信じてもらえませんでした。





enjoy勢ななほし

@Nanahosi1222



フォロー

おいふざけんな、地震のせいで
うちの近くの動物園からライオン放たれたんだ
が
熊本



Twitter/Nanahosi1222

②5 ほしかったあの商品が無料でもらえる！

○ 目標

- ・Webサイトには、個人情報を盗もうとする危険なものがあることを知り、安易に個人情報を書き込まない態度を身に付ける。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 「個人情報」とはどういったものなのかを發表する。 ・自分の名前は、個人情報だと思うよ。 ・自分の家の住所や電話番号。 ・人に知られてはいけないもの。	○子どもたちの視点が、個人情報に向くように、自分たちの生活にある個人情報がどのようなものがあるのかを考える。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">もし、あなたがA君の立場だったら、どうしますか。</div> 《登録する》 ・無料でアイテムがもらえるなら、嬉しいから。 ・せっかくのチャンスだから、ほしい。 《登録しない》 ・無料なんてあやしいから、登録しない。 ・絶対に悪いことに使われそうだから、登録しない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">A君は、どうすればよかったと思いますか</div> ・登録しなければよかった。 ・親に相談するべきだった。 3 「そのページ確認しなくて、大丈夫」を見る。 ・無料という言葉に騙されない方がいいなと思った。 ・名前や住所はむやみに入力しない。 ・このサイトがどんなサイトか確認すればよかった。	○登録するかしないかの二択になるが、そう思った理由まで発言させる。 ○無料とうたい、個人情報を盗んで悪用していることに気づくことができるように、このアンケートを作った人はどのようなことをしようとしたのか考える。 ○情報を正しく判断することの大切さや大人に確認することも必要であることを押さえる。 ○今後同じような場面に出会った時にどのように対処すればよいか気づくことができるように、文部科学省が出している資料を見る。
終 末	4 先生の話聞く。	○今回は、メールがたくさん来るだけだったが、中には、もっと危険が伴う事例があることも知らせ、安全な使用方法を確認する。

○ 評価

軽い気持ちで個人情報を書き込まないようにし、不安や迷いがあるときには、大人に相談することが大事だということが理解できたか。

◎参考資料：文部科学省 教材その③「そのページ、確認しなくて大丈夫？」

https://www.youtube.com/watch?v=oKHjRnu2H_A&list=PLGpGsGZ31mbA0d2f-4u_Mx-BCn13GywDI&index=9

「ほしかったあの商品が無料でもらえる！」

A君は、ゲーム好きな4年生。今度発売される新作ゲーム「ファンタジーRPGXXX」をほしくてたまらない。しかし、誕生日もクリスマスもまだまだ先のこと。自分のお小遣いも残りわずかです。ほしいけどしょうがないな。そんなことを思いながら、インターネットの動画サイトで、ゲームの動画を見ていました。

そんなとき、動画の画面の下の広告に

ファンタジーRPGXXXをプレゼント!!!

以下のサイトに、登録してログインするだけでゲットのチャンス!

<https://ABCD.com/present/FRPGXXX/>

登録は無料。受付は本日のみ。このチャンスを逃す手はありません。

と表示されていました。A君は、

(えっ!?こんなチャンスめったにないぞ!しかも、僕がほしかったゲーム。今日まで受付か……。どうしよう。無料ならいいよね。よし、登録しよう。)

A君は、すぐに表示されていたサイト

をクリックして、名前や住所、年齢や電話番号や家族構成などを書き込んで登録しました。



次の日、学校から帰ってパソコンの電源を入れると、A君あてのメールが届いています。何かなと思って、メールソフトを開くと、なんと何十通ものメールが届いていました。メールの件名を見ると、どれも学習教材や塾、ゲームサイトなどの案内ばかりでした。動画を見ていても、数分ごとに同じようなメールが届き、落ち着いて動画を見ることもできません。A君は、

(あの登録が原因かな。無料なんて、やっぱりおかしかったんだ。)

夜になっても、メールが止まることはありませんでした……。

②⑥ インターネットに書いてあったのに

○ 目標

- ・Webサイトにある情報は、全てが正しいとは限らないことを理解し、情報を確かめるには、いくつかのサイトや別の方法で調べることがよいことを知る。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 インターネットを使って調べ物をしたことがあるかを確認する。 ・夏休みの宿題で使ったことあるよ。	○児童の利用状況を確認する。学校でも使っており、だれもが自分事として考えられるようにする。
展開	2 教材を読んで話し合う。 A君の調べ方で、何か気づくことがありますか ・個人が趣味で調べたものって大丈夫かな。 ・更新日が前すぎるよ。 どんなサイトなら大丈夫かな ・公式サイトなら大丈夫だよ。 ・更新日が新しいものなら大丈夫だと思う。 A君は、どうやって調べればよかったのでしょうか ・正確な情報が必要ならば、個人のサイトは避けた方がいいね。 ・市役所とかのサイトならいいかも。 ・一つの情報をいろいろなサイトで比べてみるといいよ。	○意見が出ない時は、資料中のサイトに関する情報に着目させる。 ○情報を正しく判断することの大切さやどうすれば正しいと判断できるかを押さえる。
終末	4 先生の話聞く。	○Webサイトの情報が全て正しいとは限らないことやいつの情報なのかなどを確認することが大切であることを押さえる。 ○Webサイトには意図的に虚偽の内容を載せるなど、悪意のあるものも存在することを押さえる。

○ 評価

Webサイトにある情報は、様々な立場からの情報があり、過去のものであったり、偏った見方のものであったりすることを知り、正しいかどうかを確認して使用することが大切であることを理解できたか。

「インターネットに書いてあったのに」

A君のクラスでは、今日の社会科の時間に先生から、

「現在、日本で開催されているいろいろなお祭りについて調べてきなさい。次の月曜日の授業で、一人一人に発表してもらいます。」

と宿題を出されました。A君は、

（よし、今日は家に帰ったら、インターネットで調べてみよう。）

とやる気まんまんで下校しました。

家に帰ると、さっそくパソコンの電源を入れ、インターネットで調べ始めました。しばらく調べていると、A君が聞いたこともない珍しいお祭りが載っているサイトがありました。このサイトは、個人が趣味でやっているサイトのようにです。

どんどこ祭り

2003.10 更新

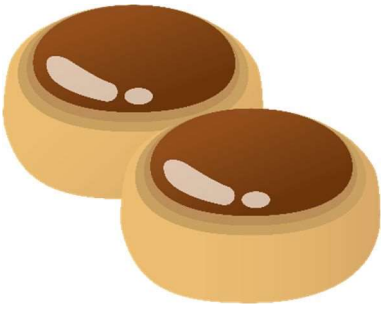
<由来>

これは、10年前から始まったお祭り。
〇〇市の名産であるお菓子「どんどこ」が11年前のコンテストで日本一になったことを記念して始まった。

<開催日>

現在は、毎年9月の第3日曜日に行われている。

- ・
- ・
- ・



（これなら、みんなきっと知らない。いい発表ができるはずだ。）

A君は、月曜日の発表を楽しみにしていました。

月曜日、社会科の発表の時間になりました。A君は、自信たっぷりに「どんどこ祭り」について発表していました。発表がすんで席に戻ると、友達から、「どんどこ祭り」は、5年前に中止になっていることを言われ、中止になったことを知らせる新聞記事も見せられました。A君は、頭が真っ白になるような感じがするほど驚き、恥ずかしい気持ちになりました。

②7 楽しいダンスの後ろに

○ 目標

- ・動画には、自分の意図しない情報が含まれることがあることを知り、重要な個人情報が流出しないようにするためにどうしたらよいか考える。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 これまでに、写真や動画をインターネットに上げたことがあるかを確認する。 ・T i k T o kで動画を上げたよ。 ・L I N Eにかわいいスイーツの写真を上げた。	○SNSの利用について、児童の現状を確認することや、自分事として考えられるようにする。
展開	2 教材の前半を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ダンスの動画を上げたAさんは、この後どうなると思いますか </div> ・ダンス下手とか、いやなコメントが来るかも。 ・個人を特定されてしまうよ。 3 教材の後半を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 動画をアップロードしたAさんのいけなかったことは何でしょう </div> ・家の前で動画を撮っていることが良くないよ。 ・家の表札が見えていることが良くないよ。 ・動画の個人情報を消しておくべきだよ。 ・上げる前に身近な人に相談するといいよ。	○資料の写真に載っている情報に着目させる。 ○自分が意図していないところから、個人情報が流出してしまうことを押さえる。 ○動画像の修正等、個人情報を守る手立てを取るべきことを押さえる。 ○アップロードする前に身近な人に相談するべきことを押さえる。
終末	4 先生の話聞く。	○写真の例以外にも、個人情報が分かってしまう例を挙げて、注意喚起をして、安全に使うことが大切であることを押さえる。

○ 評価

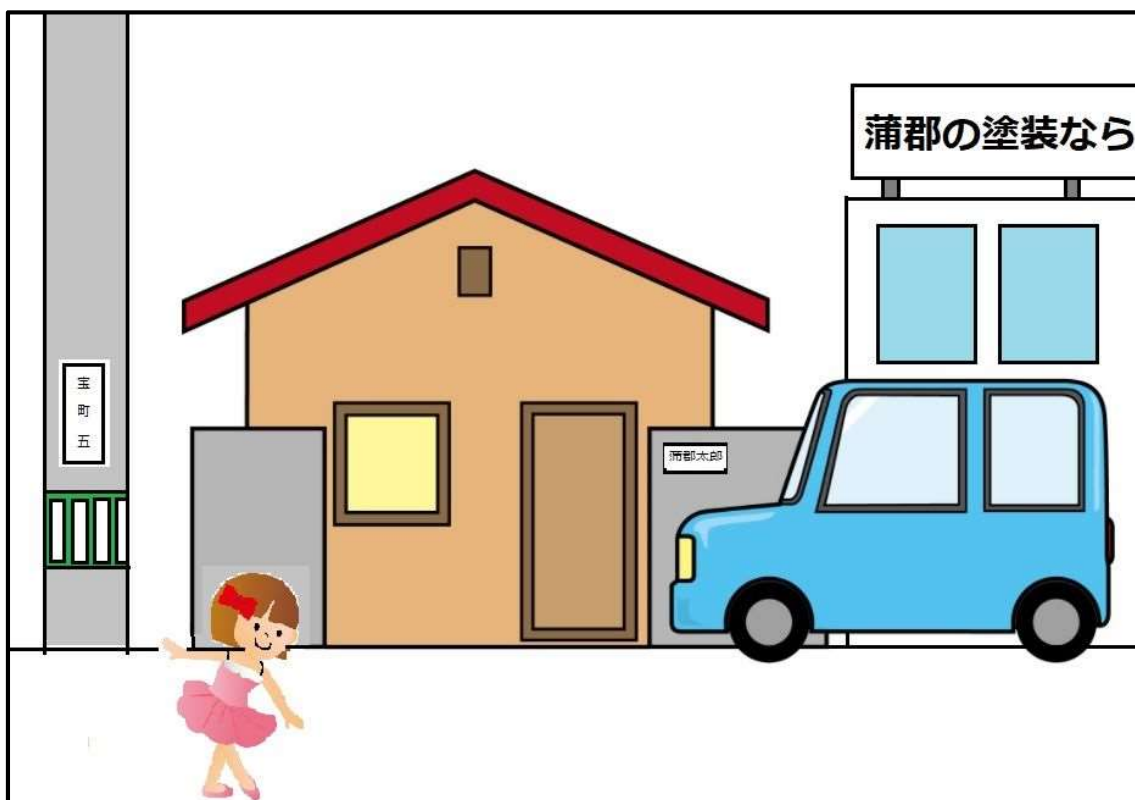
日常生活の中で、動画像を使って気軽に情報発信をしてしまっていることを知り、それを防ぐためにどんなことに気をつければよいか考えることができたか。

【資料は次ページにあります】



「楽しいダンスの後ろに」

Aさんは、ダンスが好きな6年生です。最近、大好きな韓国のアイドルグループの踊りが気に入ったので、ひまさえあればそのダンスの練習をしています。1ヶ月ほど経った頃、自分でも満足できるほど踊れるようになったAさんは、自分のダンスを誰かに見てもらいたいと思うようになりました。そこで、自分のダンスの動画を撮って、インターネットで配信しようと考えました。今日は天気もいいので、さっそく、家の前で動画を撮り、インターネットに動画をアップしました。



動画をアップして、すぐにAさんの動画に対していくつかのコメントが書き込まれるようになりました。

「Aさん、ダンス上手だね。」

「私もダンス大好き、Aさん、今度いっしょに踊ろうよ。」

どれも、よいコメントばかりで、Aさんはよかったと喜んでいました。

数日後、Aさんの家に、変な手紙が届きました。その手紙には、

「Aさん、かわいいですね。ダンスの動画を見てファンになってしまいました。今度会ってお話したいです。……」

と書いてあり、このような手紙がときどき届くようになりました。今日は、学校から帰るときに、見慣れない男の人につけられているような気がするのです。Aさんは心配になり、家に着くとすぐにお母さんに相談しました。



②8) たくさんの人の助けが必要？

○ 目標

- ・チェーンメールの問題点を知り，自分から送らない態度，送られてきても他の人に送らない態度を身に付ける。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 メールを使ったことがあるかを確認する。 ・自分はないよ。 ・お母さんのスマホをかりてやったことがある。	○生徒の利用状況を確認する。
展開	2 教材の前半を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">もし，自分のところにA君にきたメールが来たらどうしますか</div> ・自分は送ってしまうと思う。 ・人を助けるためだからしょうがない。 3 資料の後半を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">A君は，どうすればよかったですでしょうか</div> ・もっとよくメール文を確認すればよかったです。	○「人のためになることをやる」という思いは，尊重して受け止める。 ○情報を正しく判断することの大切さや大人に確認することも必要であることを押さえる。
終末	4 先生の話聞く。 話の例として 1人が5人に回すと，12回目には，日本の人口を大きく超えるくらいになる。当然，ネット回線に支障が起きる可能性が高くなる。	○こうしたメールの多くは，面白半分であったり，詐欺だったりするものであり，ネット回線やサーバーに負担をかけ，通信障害を起こすことがあること，通信障害が起こると大切な連絡や緊急の連絡ができなくなることがあり，迷惑がかかることを触れる。

○ 評価

巧妙に善意を装ったり思わず回したくなったりするメールもあるが，チェーンメールそのものが，やってはいけないことであることを理解することができたか。

※50分であれば，展開の3の後に，以下のことを話し合わせるのもよい。

- ① ネット回線が混雑してつながらなくなると社会にどんな不都合があるのか，
- ② 人の善意に付け込んで，騒ぎを起こすことの是非
- ③ 人の善意に付け込もうとする，チェーンメールの存在

【資料は次ページにあります】



「たくさんの人の助けが必要？」

Aくんは、AB中学校に通う2年生です。Aくんは、2年前に交通事故にあい、1ヶ月ほど入院していました。事故の時、大きなけがをして救急車で運ばれました。たくさんの血が出てしまいましたが、輸血をしたおかげで助かったのです。こうした経験から、Aくんは、けがをした人を見ると進んで助けています。また、公民館などで献血をしていると、わざわざ係の人のところに行って、

「献血活動ありがとうございます。頑張ってください。」

とお礼や激励の声をかけるほどでした。

ある日、Aくんのスマホに、友達のM君から次のようなメールが届きました。

A君、こんなメールが来たから送るね。A君がメールアドレス知っている人たちにも送ってね。

こんにちは。

突然メールをして、もうしわけありません。

私は、Z市に住むBといいます。

実は、〇月〇日に私の弟が交通事故にあい、大けがをして、入院しています。

すぐにも手術をしなければいけないのですが、手術用の血液が足りません。

私の弟は、RH マイナスのAB型で、非常に少ない血液なので、病院にもあまりないそうです。

そこで、なんとかして弟を助けたいので、姉である私が、メールで情報を集めたいと思い、このメールを送っています。

とても急いでいます。

メールを受け取った人は、すぐにこのメールをできるだけたくさんの人に送ってください。

弟を助けるために、お願いします！

このメールを受け取ったAくんは、これは大変だと思い、すぐに自分が知っている人たちにこのメール文をコピーして、送りました。

その日の夜、この人助けに協力したことをお父さんに話しました。するとお父さんは、

「そのメールは、本当に送ってよいものだったのかな？」

と A 君に投げかけました。A 君は、

「いいに決まってるじゃん。これを見てよ！」とおこったように、お父さんに A 君に送られてきたメールを見せました。

「もし、メールを送られてきた人で、RH マイナスの AB 型の人がいたら、どこに連絡すればいいのかな。」

とお父さんが言ったとたん、A 君は、はっとしました。



②9 インターネットにむちゅう

<道徳教科書P22>

○ 目標

インターネットに夢中になりすぎると、自分の健康を損なうことに気づき、ルールを作って守り、健全な生活を送ろうとする意識を高める。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 インターネットを使ってどんなことをやっているか思い出す。 ・オンラインで友達とゲームをしているよ。 2 道徳3「やめられない」で話し合ったことを思い出す。 ・お母さんの注意も聞かずに夢中だったな。	○児童が想像しやすいように、写真やイラストを用意して黒板に提示する。 ○その時の授業を思い出させるために、数名の授業の振り返りを抽出して読む。
展開	3 教材を読んで話し合う。 自分が、インターネットを利用して、長い時間使ってしまったときは、どんなときですか ・新しいゲームを買ったときに、夢中になって夜遅くまでやったことがある。 ・野球のうまくなる方法を調べるときに休憩せずに2~3時間見ていた。 その結果どうなってしまいますか ・宿題をやらずに学校に来てしまう。 ・目が悪くなったり、疲れやすくなったりしそう。 むちゅうになってやりすぎないために、どんなルールがあるといいかな ・一日で使う時間を決める。 ・夜遅くならないように、インターネットを使うのは夜8時までにする。	○自分事と捉えさせるために、自分のインターネットの使い方を思い出させる。 ○結果が想像しやすいように、前時の内容を思い出させたり、常生活で教員が困った実体験などを教えたりする。 ○何のためのルールなのかを押さえるとともに、逆に全く使わないということにならないように配慮する。
終末	4 授業を振り返る。 ・自分たちで作ったルールだから、ルールを守って健康な生活を送りたい。 5 教師の話聞く。	○きまりを守ることで、節度ある生活をおくれる内容を書いた児童の振り返りを全体に知らせる。 ○教師の体験などを紹介する。

○ 評価

何のためのルールであるかを理解し、節度ある生活のためにルールを守ろうとする意識が高まったか。



③⑩ねむれない夜

○ 目 標

- ・ ネットにはまりすぎると心身ともに不健康になり日常生活に支障が出るため、けじめのある規則正しい生活を送る態度を身に付ける。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	<p>1 これまでに、親に叱られるほど、夢中になってしまうことがあったかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野球の練習で、お昼ご飯の時間になっても帰らずに夕方に帰ったらおこられたよ。 <p>2 ゲームやスマホ等で、家庭のルールには、どんなものがあるか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使う時間が決められている。 	<p>○だれもが起こりうることであり、自分事として考えられるようにする。</p>
展 開	<p>3 教材を読んで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>A君の使い方ではいけなかったことがなんでしょう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜遅くまでやったこと。 ・ 約束を破ったこと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ネットゲームなどに、はまりすぎないようにするにはどうしたらいいのでしょうか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前にルールを決める。 ・ ルールを守る。 ・ 親にもチェックしてもらう。 	<p>○はまりすぎたことが問題であり、ルールを守るためにどうしたらよいかを考えさせる。</p>
終 末	<p>4 先生の話聞く。</p>	<p>○ネットなどに限らず、夢中になってしまうことは誰にでもあることを押さえる。</p> <p>○誰でも、ネット以外に大切なことはたくさんあり、やるべきことをきちんとやるとともに、健康にも気をつけることが大切であることを押さえる。</p>

○ 評 価

- ネットにはまり日常生活に支障きたすことがなく、楽しくネットと付き合えるようにルールを決め守って、規則正しい生活を送ろうとする意識を高めることができたか。

「ねむれない夜」

A君は勉強も運動もでき、クラスの中でも人気者、先生からも信頼されていました。そのA君は、先週が誕生日でした。そのプレゼントで、自分専用のタブレットを買ってもらいました。買ってもらうときに、「タブレットを使うのは、宿題が終わった後で、一日一時間だけ。」とお父さんと約束しました。A君は、はじめのうちは約束を守っていましたが、今日は・・・。

（もうすこしで、レベルアップできるのに、もう一時間たっちゃう。ちょっとだけならいいよね。）

と、約束をやぶってしまいました。結局この日は、夜遅くまでゲームをやめることができずに、夜の2時までやってしまいました。

次の日の朝、A君はいつものようには起きられず、お母さんから何度も注意されても起きられず、朝ご飯も食べずに学校に行きました。

こんな日が何日も続き、学校では授業中に居眠り、宿題も忘れるようになってきました。体育の授業では、途中で気持ち悪くなって見学する始末。テストの点数もみるみる下がっていきました。そんなA君を見かねた先生が言いました。

「A君、最近どうかしたの？宿題を忘れることが増えたし、好きな体育もまともにできていないじゃない。何か心配なことでもあるの？」

A君は、首を振ってうつむいていました。



③1 おせっかいが大変なことに

○ 目 標

- ・他人の個人情報を勝手にインターネット上に流すと、思いもよらない事件に巻き込まれたり、危険が生じることがあったりすることを知り、プライバシーを侵害しないように努める態度を育てる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 これまで、友だちに自分の秘密を話したことがあるかを確認する。 ・財布を落としたことがあるよ。 ・ハンカチをよく落とすよ。	○児童の現状を確認することや、自分事として考えられるようにする。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Bさんの個人情報をインスタにのせたことでどんな問題が起こったのでしょうか</div> ・学校に不審者があらわれた。 ・Bさんに危険が及ぶ心配が生じた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Aさんの行動のどこがいけなかったのでしょうか</div> ・Bさんの個人情報を勝手にのせたこと。 ・個人が特定されるような情報をのせたこと。	○補助発問として、資料から読み取れない危険性もあげさせるのもよい。 ○これまでの情報モラルの個人情報についての授業をふりかえらせ、対応方法を出させる。
終 末	3 先生の話聞く。 ※具体的なこと、気をつけること 顔写真や名前、住所、電話番号など、個人を特定できる個人情報 個人情報保護法違反、デジタルタトゥー	○個人情報を載せるときに、具体的に何に気をつけるかを伝える。 ○個人情報の流出にともなう危険性を知らせること。

○ 評 価

勝手に他人の個人情報を流出することは、プライバシーの侵害行為となり、法律にふれる行為であることを知り、適切に個人情報を扱う必要があることを理解することができたか。

「おせっかいが大変なことに」

Aさんは、W小学校に通う6年生です。Aさんは、おせっかいなところがある明るい子です。よく友だちの相談にもものってあげるので、友だちもたくさんいます。ある日、友だちのBさんが、Aさんと将来のことについておしゃべりしている時のことです。

B「まだ、秘密なんだけど、私の夢は、アイドルになることなんだ。」

A「そうなんだ。その夢かなうといいね。」

(Bさんは、たしかにかわいい。もしかしたら本当になれるかも。私にできることがあれば・・・)

夕方、家に帰ったAさん。おせっかいな思いがふくらんできます。

(そうだ！私のインスタでBさんを紹介して、たくさんの人に知ってもらえば、かわいいBさんのことだから、芸能界から連絡が来るかも！?)

そう思ったAさんは、すぐに自分のスマホで、Bさんが映っている修学旅行での写真や運動会での写真、好きなものや将来の夢などのプロフィールをのせました。

2、3日たったころ、登下校する時間になると学校のまわりに不審な男の人を見かけるようになりました。なかには、Bさんのことを聞いてくる人もいたようです。このことを知った学校は、すぐに警察に連絡をしました。帰りの会で、

「帰るときは、複数で気をつけて帰るように。知らない人に声をかけられても相手にしないこと。」

と先生が言いました。Aさんは、

(もしかして、私がBさんのことをインスタにのせたから!?)

心配になったAさんは、下駄箱に向かわず、先生に相談しようと職員室に向かいました。



③健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方

○ 目標

- ・コンピュータやスマホ、ゲーム機などを長時間使用すると、心身に悪い影響があることを知り、健康により生活行動を過ごすことが必要であることを理解する。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導 入	1 ふだん、コンピュータやスマホ、ゲーム機をどの程度利用しているか確認する。 ・ゲームは毎日、2時間はやってるよ。 ・暇さえあればスマホを見てるかも。	○生徒の利用の現状を確認することや、自分事として考えられるようにする。
展 開	2 各発問について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> スマホやネットの便利なところやよいところと、逆に使っていて心配なことや嫌な思いをしたことを上げてみよう </div> ・必要な情報がすぐに手に入る。 ・目が悪くなる。 ・ウイルスや詐欺がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 心配なことを減らしたり、嫌な思いをしらないようにするにはどうしたらいいの </div> ・緊急時以外、夜遅くには使わない。 ・フィルタリングをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> スマホやネットとどう付き合っていくのか、を考えよう </div> ・一日の使用時間を決める。 ・ブルーライトカットの眼鏡を使う。	○利便性はもちろん、健康面や基本的な生活習慣の視点からも答えさせる。 ○前の発問で出された影響を改善するための方法として答えさせる。教師も一緒になって考えてもよい。 ○心身の健康に着目して、気をつけたり、意識したりすることを考えさせる。
終 末	3 先生の話聞く。	○資料を配付し、自分のこれからの生活のために自身の健康を守ることとその健康が自分の周りの人に与える影響にも触れて話をする。

○ 評価

コンピュータ（スマホやゲーム）を使う時の注意事項について考え、自分の健康は自分で守るという意識を高め、健康により生活行動を進んで行うことが必要であることを理解できたか。

ネット・ゲームが 子供たちの心と体にもたらす影響

近年、常にインターネットに触れていないと不安に感じるという子供の「ネット依存」が、社会的な課題となっています。右ページの調査結果にみられるように、中学生の82.7%、高校生の97.3%がスマートフォンを利用し、スマートフォンの世帯保有率は、パソコンを上回りました。年齢が上がるとともにインターネットの利用時間が増えている中、ネットやゲームが、子供たちの「こころ」と「からだ」にもたらす影響が心配されています。

今号では、「ネット依存・ゲーム障害」の特集として、この治療を専門とされている先生のインタビューとともに、学校と家庭が一体となり、子供たちと一緒にSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を安全に使うためのルールづくりを目指した東京都教育委員会の取組を紹介します。

ネット依存、ゲーム障害治療の現場から

ネット依存という言葉が一般的になる前、平成23年からインターネット依存症治療部門を設置した「独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター」があります。

久里浜医療センター主任心理療法士の三原聡子先生に、お話を伺いました。



三原聡子先生

「ゲーム障害」とは

■今年5月に、WHO（世界保健機構）が、「ゲーム障害」を新しい依存症として認定しました。「ゲーム障害」は、以下の3点が特徴となります。

- ・ゲームの時間や頻度などを自分でコントロールできない。
- ・日常生活や日々の活動よりもゲームを優先してしまう。
- ・家庭、学校、職場などの日常生活、人間関係、健康状態に問題が起きてもゲームをやめられない。

WHOでは、これらの症状が12か月以上続く場合としていますが、短期間で特徴的な症状となる方もいますので、診断に必要な期間は短縮することもあります。

■人は、楽しさを感じると、中脳からドーパミンが放出されます。このドーパミンが出続けると、楽しかったことを続けても、慣れが生じて満足できなくなります。しかし、満足した時をもう一度経験したい、という欲求があるため、楽しさを感じるためにしていたことを止めると嫌な気持ちになってしまい、やめられなくなります。この状況が依存症です。

依存症の子供たちは、ゲームが楽しいから続けているわけではありません。やめられない状況になっているのです。

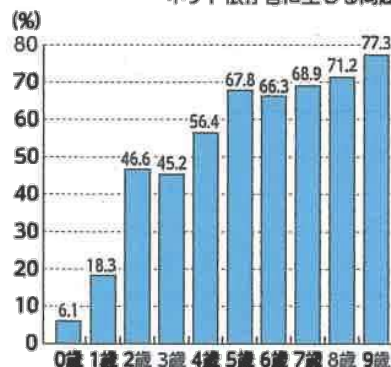
ただ、インターネット依存症にならないよう、子供と保護者とで話し合いながら使い方のルールを決め、一日の中で全く使わない時間をつくる等により、予防ができますし、予防が重要になります。



ネット依存者に生じる問題

使用年齢の低下

■使用開始年齢が低いと、ネット依存症になりやすくなると言われていました。WHOでは、主に肥満を防止する観点から、5歳まではテレビやゲームの画面を見る時間を1日に1時間未満にし、積極的に運動する習慣を付けるべきという指針を出しています。幼い子供たちの使用時間と影響については、まだデータが少ない状況です。ゲーム歴が長いほど、症状が重くなり、治療が難しくなります。今後、ネット依存症・ゲーム障害の子供たちが更に増えることを危惧しています。



〔平成30年度 青少年のインターネット利用環境実態調査〕内閣府

③3 いったい何時までやるの？

○ 目標

- ・オンラインのSNSサイトなどは、夢中になりやすいことを知る。
- ・オンラインの友達と学校の友達とのバランスのよい接し方を考える。
- ・インターネット上の危険について知る。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 夜遅くまでスマホやパソコンを使ってしまった経験を確認する。 ・ゲームに夢中になって、12時を過ぎてしまったことがあった。	○自分や友達の経験を確認することで、自分事として考えられるようにする。
展開	2 教材を読んで話し合う。 Bさんは、学校の友達よりもネット上の友達が優先したのはなぜだと思いますか ・楽しいから。 ・すぐに返事をしないと悪いと思っているから。 Bさんのしていることをどう思いますか ・夜遅くまでやるのはよくない。 ・学校にいても気にするのは変だよ。 ・友達は、もっと大切にしたい方がいいのに。 ・インターネット上だと、相手を簡単に信じない方がいいよ。 なぜインターネット上の方は簡単に信じない方がいいのだろう ・本当にCさんが中学2年生かわからないから。 ・表情が見えないから本心かわからないから。 ・Cさんからさらに自分の情報が拡散するから。	○教師が意図する答えでなくてもよいし、望ましい意見でも肯定しない。 ○これまで仲が良かったAさんやDさんとの関係が希薄になったことを押さえる。 ○安易に自分の個人情報やインターネット上に載せるのは、危険があることと見たこともないインターネット上の相手を簡単に信じないほうがよいことも押さえる。
終末	3 授業を振り返る。	○ネットの友達とのやり取りは、付き合いやすくのめり込みやすいことと、学校の友達とのバランスを取ることが大切であることを押さえる。

○ 評価

場面ごと、友達とのかかわり方についてバランスよく接することと、オンラインゲームの依存性について知り節度のある生活を過ごすことの大切さについて、考えることができる。

【資料は次ページにあります】



「いったい何時までやるの？」

ある日の学校の帰り道、AさんとBさんはいつものようにおしゃべりをしながら仲良く下校していました。今日も部活動の話題がほとんどです。

そんなとき、ふいにAさんが

「そういえば、おもしろいSNSサイト見つけたんだ。今日帰ったらメールで教えてあげるね。」

と言いました。Bさんは、これまでAさんを含めて仲のよい友達2、3人としかメールをしたことがありませんでした。しかし学校で毎日会っているため、メールはほとんど使っていませんでした。

家についてスマホのメールを確認すると、はやくもAさんからメールが届いていました。

(今日は宿題も少ないし、宿題が終わったらやってみようかな。)

Bさんは宿題や食事、入浴を済ませ、Aさんに教えてもらったSNSサイトを見ってみました。すると、確かに載っているサンプルのコメントには、最近流行の話題やBさんが好きなアイドルの話題がたくさんありました。しかも登録は無料ではありませんか。Bさんはすぐにプロフィールを登録して、自分の好きなメッセージグループに入りました。すると、早速メッセージが届きました。

「こんばんは、はじめまして。私は中学2年生のCといいます。あなたも〇〇(アイドル)が好きなんですね！私もです！いろいろ情報交換しましょう、仲良くしようね。」



Bさんは返事の早さに驚きましたが、同じアイドルグループが好きで、返事もていねいで感じのよいCさんを疑いもせず信用しました。それ以来、BさんとCさんは昼夜問わず、暇さえあればこのサイトでメッセージのやり取りをするようになりました。Bさんは、このやり取りが楽しくてしょうがありませんでした。そして夜遅くまでやり取りすることも珍しくなくなりました。



時には「いったい何時までやるの！」と、夜遅くなってお母さんに叱られることもありました。それでも、Cさんとのやりとりが楽しくて止めることはできませんでした。

それから1週間ほど過ぎたころ、Bさんは早くメッセージを確認したくて、急いで帰るところでした。そこにAさんとDさんがきて、

「今日帰ったら、いっしょにスイーツ食べに行かない？」と誘われました。しかし、Bさんは、

「ごめん！今日は家でやることがあるから…。また今度ね！」

とそそくさと下校してしまいました。Aさんは、

「最近Bさん、つき合い悪くなったような気がするよね。」

と言うと、Dさんも

「そうだね。学校でも、素っ気ない態度で、何か気になることがあるような感じがするし…。何か心配だね。」

ふたりはBさんの心配をしつつ、下校していきました。



③③ スマホに夢中！

<道徳教科書P82>

○ 目標

心身の健康と望ましい生活習慣とのかかわりを理解し、安全で調和のある生活をしようとする態度を育てる。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 歩きスマホについて考える。 ・危険だと思う。 ・大人でもやっている姿を見る。	○簡単に触れる程度とする。
展開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事故が起きるまでの奈美恵は、スマホの使い方についてどのように考えていたでしょう</div> ・人ごとで、危険性について真剣には考えていなかった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">階段の下に転落した事故の後、奈美恵はスマホの使い方についてどのように考えただろう</div> ・お母さんとの約束を守っていればよかった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">実際にあった事故事例やアンケート調査を見て、スマホの使い方について考えよう。</div> ・危険だと思っているのに使用する人が多い。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">日頃から、安全で調和のとれた生活を心がけようと自分で意識していることは、どんなことだろう</div> ・まわりを見て、自分の身は自分で守る。	○自分の欲望を抑えられなかった奈美恵は、自分の危険まで考えが及ばなかったことを確認させる。 ○グループで話し合わせ、自分の考えと違う意見もしっかり聞くことを押さえる。 ○自分を見つめる発問につなげるために、実際の事故を取り上げる。(指導書 P84) ○これまでの話し合いをもとに考えさせる。
終末	3 今日の授業を振り返る。	○今日の授業で、新たに自分が意識したものがある生徒の考えを全体に発表する。

○ 評価

安全に留意し、調和のとれた生活が、よりよい生き方につながることについて考えることができたか。



③4 友だちだもん、貸していいかな

○ 目標

- ・パスワードが他人に知られたときに起こる問題点を知り、きちんと管理する態度を身に付ける。
- ・他人のパスワードを知ってしまったときの正しい行動の仕方を身に付ける。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 身のまわりに、パスワードを使うものにどんなものがあるかを確認する。 ・タブレット ・アマゾンとかのサブスク	○身近にいくつものパスワードがあり自分でも使う可能性が高く、自分事として考えられるようにする。
展開	2 教材を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">A君のいけなかったことはなんですか</div> ・他人にIDとパスワードを教えたこと。 ・すぐにB君に確認を取らなかったこと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">IDとパスワードを扱うには、どんなことに気をつければよいと思いますか</div> ・他人には教えない。 ・ときどき、パスワードを変える。 ・おかしいと思ったら、すぐに管理会社に連絡する。	○自分のIDとパスワードを知られることと、その逆の立場の両面から考えさせる。
終末	3 先生の話聞く。	○悪意をもった人に、知られると莫大な被害を受けうることがあったり、人間関係も崩れてしまうことがあることを理解し、そうならないことが大切であることを押さえる。

○ 評価

パスワードの重要性について理解し、正しい管理の仕方を知るとともに、他人のパスワードを知ったときの適切な行動について理解することができたか。

「友だちだもん、貸していいかな」

最近、いくつかのネットゲームをやっているA君。昨日パソコンを買った友だちのB君に、面白いXゲームの話をする、B君は、
「いいね。僕もやってみたいなあ。」
と興味しんしんでした。

「じゃあ、一週間だけそのXゲームをやってみなよ。僕のIDとパスワードを貸してあげる。」

といい、B君にIDとパスワードを教えた。

1週間後、久しぶりに、ネットのXゲームを開き、IDとパスワードを入力しました。すると画面には、

パスワードが違います！

何度確認して入れ直しても同じメッセージが出るばかりです。A君は、あきらめて、別のゲームをすることにしました。

1ヶ月後、A君の家に、Xゲームの会社から封筒が届きました。その中には、3万円もの請求書が入っていました。A君のIDでゲームをしている人が課金をして、いろいろなアイテムを買ったようです。びっくりしたA君は、B君にIDとパスワードを教えたことを思い出しました。

(勝手にパスワードを変え、人のIDでアイテムを買ったのはB君?)

A君は、3万円ものお金をどうしたらいいか分からず、頭をかかえてしまいました。



③5)なくしたスマホから

○ 目標

- ・ 個人情報が他人に知られてしまうことは、犯罪行為を誘発したり、人に対して悪意をもって接触しようとする人がいたりすることを知り、適切に管理する意識を高める。

○ 学習過程

	学習活動・主な発問と予想される児童の発言	指導上の留意点
導入	1 これまでに、自分の持ち物でなくしたり落としたりしたことがあるかを確認する。 ・ 財布を落としたことがあるよ。 ・ ハンカチをよく落とすよ。	○ 児童の現状を確認することや、自分事として考えられるようにする。
展開	2 教材を読んで話し合う。 スマホをなくしたことで、Aさんにどんな問題が起こったのでしょうか ・ 友だちの個人情報を他人に知られた。 ・ 自分のインスタをのっとられた。	○ 補助発問として、資料にない危険性もあげさせるのもよい。
開	スマホをなくしたことを知ったAさんは、どうすればよかったのでしょうか ・ なくしたことが分かったとき、すぐにお母さんに言うべきだよ。	○ こうした対応は、早ければ早いほどいいことを押さえる。
終末	3 先生の話聞く。	○ スマホにはロックをかけるなど、個人情報が漏れない工夫があることなど、安全に管理することが大切であることを押さえる。

○ 評価

- 個人情報が不用意に流出することは、様々な危険性があることを理解し、適切に個人情報を管理する必要があることを意識することができたか。

「なくしたスマホから」

Aさんは、Y小学校に通う6年生です。Aさんは、5年生の誕生日にスマホを買ってもらいました。BさんとCさんという仲のよい友だちが二人いて、いつも三人で遊んでいます。今日は、三人で駅前のショッピングモールに買い物から遊びにいきました。いろいろなお店をのぞいたり、ジュースを買ってベンチで飲みながらおしゃべりしたり、楽しい時間を過ごし、夕方には帰宅しました。

夕ご飯を食べ、宿題も終わったAさんは、BさんたちとLINEをしようとスマホを使おうとしました。しかし、ポケットやカバンの中を探してもスマホがありません。

(えっ!? スマホどこにやったんだろう。なくした? やばい!)
絶対になくさないように、お母さんたちから強く言われていたのです。

(とりあえず、明日学校でBさんとCさんに聞いてみよう。それでもわからなかったら、お母さんたちに言うしかないなあ。)

次の日、学校に行くすぐに二人に聞きましたが、二人とも知らないようです。

(しょうがない。だまっけていてもどうにもならない、あやまって、すぐにスマホの会社に連絡しないと・・・。)

その日の夜、Aさんは、お母さんたちに正直に言い、しかられました。

しばらくして、Bさんが、
「最近、変なメールがくるんだよね。
知らない人から、返事くださいとか、
遊ぼうよとか・・・。なんか怖いよね。」

(もしかして、私がスマホなくしたから!?)

Aさんは、そんな思いがしましたが、その場では言い出せませんでした。家に帰り、お母さんのスマホを借りて、久しぶりに自分のインスタを見てみました。すると、自分が見たこともない写真がアップされていたり、覚えのない分が書き込まれていました。

(誰かが、私になりすましてる!?)

Aさんは、すぐにお母さんに相談して、スマホの会社やインスタの会社に連絡して使用を止めてもらいました。

Aさんは、スマホをなくすと、自分だけじゃなく、いろいろな人にも迷惑がかかってしまうことを知りました。



情報モラルリンク集

インターネットを利用する際に、知っておきたい『その時の場面集』

<http://www.iajapan.org/bamen/index.html>

情報モラル教育のすすめ（総教セ）

<https://apec.aichi-c.ed.jp/kenkyu/j-moral/students.html>

ネット社会の歩き方

<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>

オンライン・ベターライフ（日本教育情報化振興会）

<http://www2.japet.or.jp/betterlife/>

文科省情報モラル YouTube

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416322.htm

どうぶつの町でトラブルがおきた！

<https://i-roi.jp/doubutsu/>

上手にネットと付き合おう！（総務省）

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/

参考資料

文部科学省「私たちの道徳」・「情報モラル教育の充実」

「内閣サイバーセキュリティセンター」

開隆堂出版株式会社「技術家庭学習指導書実践編」

光村図書出版株式会社「小学校道徳学習指導書朱書編」

Twitter/Nanahoshi1222

とうきょうの地域教育 No. 137

